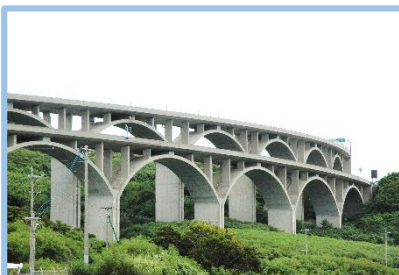
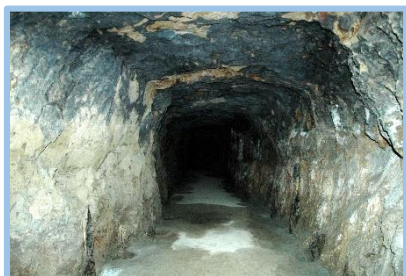


南	風	原	町
観	光	振	興
			計 画

平成 26 年 3 月



南風原町

南風原町観光振興計画の策定にあたって

南風原町は、沖縄の玄関口である那覇空港から20分程度のところに位置し、県都那覇市をはじめとする6市町村に囲まれ、県内では唯一海に面していない町です。那覇空港からは那覇空港自動車道を通して本町に至り、また沖縄本島南部地域の東西を結び、さらには沖縄本島の南部と中・北部とを結ぶ交通の要所で利便性の高いところです。そのため、沖縄本島南部地域の浦添市、那覇市、南城市、八重瀬町及び糸満市などの主要観光地を結ぶ経路は、本町を経由して結ばれており、観光経路の要所となっています。



沖縄県は、「沖縄県21世紀ビジョン基本計画」を踏まえて策定した「沖縄県観光振興基本計画」において、計画の目標を「『世界水準の観光リゾート地』の実現に向けて、沖縄観光が国内外に広く認知される基盤を構築することを目的」としております。これまでのさまざまな施策の取り組み効果もあり、国内はもとより海外からも多くの観光客が訪れるようになっていきます。このような本県の取り組みが評価され、国は国家戦略特区として、本県を「国際観光拠点」に指定しました。

本県が観光立県として発展する中において、本町は第四次南風原町総合計画において、町の将来像を「ともにつくる 黄金南風の平和郷」とし、将来像の実現に向けた観光のあり方を「ネットワークで創るレクリエーション・観光の振興」としています。具体的な取り組み施策としては、観光推進体制の強化、新たな観光資源の整備・活用、歴史文化資源の保全活用、地場産品の活用と開発促進など掲げています。これを実現すべく町民、事業者、関連団体及び行政が一体となって取り組みを進めているところです。その一環として南風原町観光協会の発足をはじめ、PR活動や観光プログラム提供等が全町的な取り組みとして進んでいます。

このような気運の高まりを踏まえ、さらに観光はまちづくりの一環であることを基本に置き、住んでいる人が誇りある輝く町をつくり、そして訪れた人が地域の豊かさにつれ、再び訪れたいくなるような観光まちづくりを目指し、「南風の光を育み 訪れて感動のまち 黄金南風の里」を基本理念とする観光振興計画を策定しました。

本計画を推進していくためには、行政のみならず、町民の皆さんや観光関連事業者及び観光関連団体等の関係者が一体となって取り組んでいく必要があります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました南風原町観光振興計画策定委員会の委員の皆さまをはじめ、ご協力くださいました多くの皆さまに心より御礼申し上げます。

平成26年3月

南風原町長 城間 俊 安

《 目 次 》

第1章 計画の目的と位置づけ	1
1-1 計画策定の背景と目的	1
1-2 計画の位置づけ	4
1-3 計画の性格づけ	4
1-4 計画の期間	4
1-5 計画の対象区域	4
1-6 計画の構成	5
第2章 観光を取り巻く状況	6
2-1 我が国の観光動向	6
2-2 沖縄県の観光動向	8
2-3 沖縄県南部広域の観光動向	11
第3章 南風原町観光の現状と課題	12
3-1 関連計画の整理	12
3-2 立地特性	12
3-3 観光に係る取り組みの動向	13
3-4 主な観光資源	13
3-5 町民の意向	18
3-6 関係機関等の意向	23
3-7 計画課題の整理	25
第4章 将来像と基本方針	27
4-1 南風原町観光の将来像	27
4-2 基本方針と施策の方向	28
4-3 目標水準	29
4-4 施策の体系	30
第5章 施策の具体的な取り組み	31
基本方針-1 共につくる黄金南風の里	31
基本方針-2 南風の文化が育む観光ブランド	35
基本方針-3 もてなしの快適環境づくり	41
第6章 計画の推進	45
6-1 推進体制と役割	45
6-2 計画の進行管理	47

第 1 章 計画の目的と位置づけ

1-1 計画策定の背景と目的

(1) 背景

観光という言葉の意味合い

古くからの観光の意は、他国の輝かしい文物を視察する意味合いと、受け入れ側から見ると国威の発揚の意味を示すものとされてきました。

今日的な意味合いは、訪れる側からすれば、他国や他地域の風景、風俗、文物を見たり体験することや、楽しみを目的とする旅行といえます。また、受け入れ側からすると、歴史文化に根差した固有の国や地域の活力を示すことといえます。

国や県の観光への取り組み

■国の観光への取り組み

平成 12 年（2000 年）に旧運輸省（現国土交通省）の観光政策審議会は、「21 世紀初頭における観光振興方策について―観光振興を国づくりの柱に」を答申しました。

平成 15 年（2003 年）には、内閣府の観光立国懇談会から、「住んでよし、訪れてよしの国づくり」が提起されました。

平成 19 年（2007 年）には、観光立国の実現に関し、基本理念や国及び地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、住民の役割、観光事業者の努力を定めた「観光立国推進基本法」が制定されました。これを受けて、「観光立国推進基本計画の閣議決定」及び「観光庁の発足」など、観光立国に向けた体制と取り組みが進められています。

■沖縄県の観光への取り組み

沖縄県は、平成 24 年（2012 年）策定の「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」において、「世界水準の観光リゾート地の形成」を掲げ、世界に誇れる「沖縄ブランド」を確立し、世界にも広く認知され、評価される観光リゾート地の形成を目指としています。

また、同年策定の「沖縄県観光振興基本計画」では、21 世紀ビジョンを踏まえ、平成 33 年度の達成目標として、入域観光客数 1,000 万人、観光収入 1 兆円を目指としています。

本町の観光への取り組みや動向等

■本町の観光への取り組み

本町は、平成 24 年（2012 年）策定の「第四次南風原町総合計画」（基本構想・後期基本計画）で、「ネットワークで創るレクリエーション・観光の振興」を基本的な柱としています。その具体的な施策の展開として「町立南風原文化センターを拠点として自然・文化・歴史資源を伝える各種基盤及び推進体制を整え、その集客力を活かして地場産業及び観光関連産業の新たな展開をめざします。」として方向づけをしています。

同年の 9 月には、南風原町商工会に、「南風原町地域観光まちづくり推進室」が町からの委託により開設され、「かすりの道景観活性化プロジェクト事業」をはじめ、組織的な観光振興の取り組みが開始されました。

平成 25 年（2013 年）4 月には、一般社団法人南風原町観光協会（以下、観光協会という。）が発足し、町民、事業者、行政が一体となった観光振興への取り組みが開始されることになりました。

■本町の観光の動向

本町には、特質すべき観光資源として、戦跡の沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号をはじめ、平和体験学習の町立南風原文化センター、世界初飛行の「飛び安里」、ウルトラマンをつくった男「金城哲夫」、世界一の 21 連アーチ橋、伝統工芸の「琉球かすり」、かぼちゃの生産、食用糸瓜の生産日本一など、多くの資源・遺産があります。

現在では、沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号の公開や町立南風原文化センターの平和学習等を主とし、年間約 3 万人の来訪者があります。また、琉球かすり会館を拠点とした体験工房やかすりの道の散策、さまざまなイベントの開催や行事が活発に行われており、観光協会の発足に伴い PR や活動が活発化し、来訪者・参加者が増えてきています。

■「南風原」の地勢

「南風」の語意には、初夏になればうるおいの南風が吹いて、万物に息吹を与えるという意味が込められています。つまり、「南風原」は豊かな実りと繁栄をもたらす風が吹く里ということです。

(2) 目的

観光振興のねらいは、本町を取り巻く観光の動向やまちづくりの方向を踏まえつつ、「南風原」の意味するところの豊かな実りと繁栄をもたらす風の吹くところに相応しい「里づくり」を、観光を通じて実現しようとするものです。

そのための観光に関する基本的な考え方としては、地域に住んでいる人々が誇りをもって住んでおり、その人たちが育んでいる歴史文化・風土などの「光」を訪れた方が「観る」といった情景を創り出すこととします。「光」には、地域の歴史文化・環境・暮らし・産業経済・人間性の豊かさなどを含めた広義の意味合いを含んでいます。

これらを実現するのは人によるものであることから、取り組み・推進に当たっては、町民、事業者、観光協会及び行政（町）が一体となり、それぞれの役割を果たすとともに、互いが連携し合うことが必要です。

したがって、本計画は、以上のような基本的な考え方のもとに、観光まちづくりに向けた行動指針となる、取り組み方針、具体的な取り組み施策、実施主体などを示した計画の策定を目的とします。

《観光立国推進基本法による関係機関等の責務や役割等について》

○国の責務（第3条）

国は前条の施策の基本理念にのっとり、観光立国の実現に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

○地方公共団体の責務（第3条）

地方公共団体は、基本理念にのっとり、観光立国の実現に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、自主的に、その地方公共団体の区域の特性生かした施策を策定し、及び実施する責務を有する。

○住民の役割（第5条）

住民は、観光立国の意義に対する理解を深め、魅力ある観光地の形成に積極的な役割を果たすよう努めるものとする。

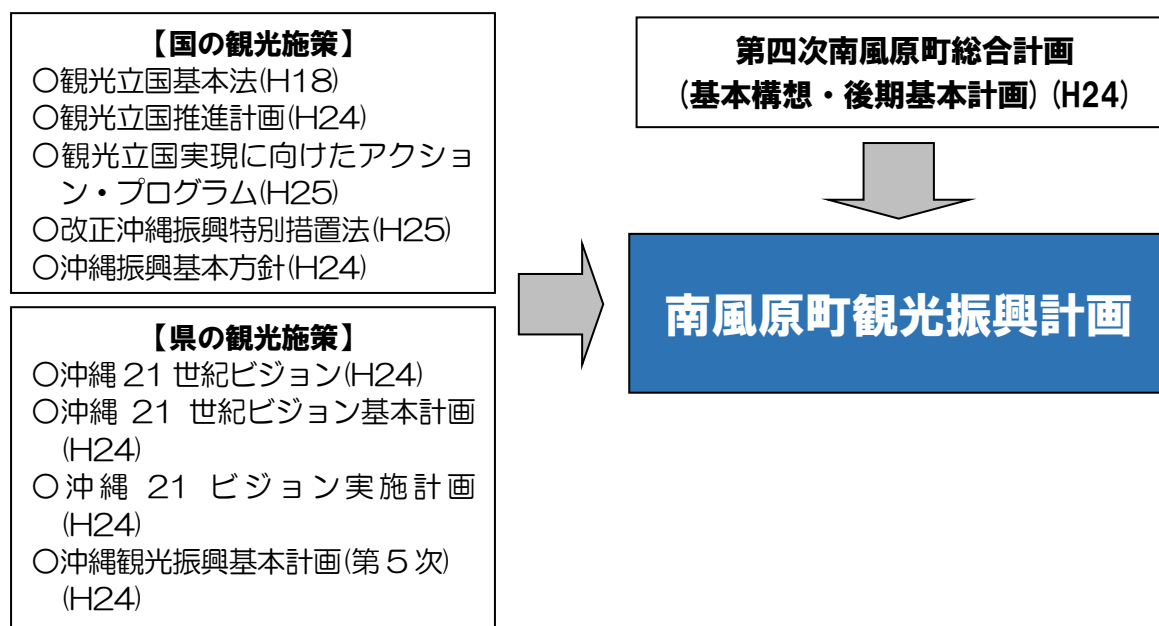
○観光事業者の努力（第6条）

観光に関する事業を営む者は、その事業活動を行うに際しては、住民の福祉に配慮するとともに、観光立国の実現に主体的に取り組むよう努めるものとする。

1-2 計画の位置づけ

本計画は、上位計画となる「第四次南風原町総合計画（基本構想・後期基本計画）」のまちづくり目標を達成するための柱としている「ネットワークで創るレクリエーション・観光の振興」を具体化するための計画です。

計画の策定に当たっては、国や県の観光施策及び本町関連計画との整合を図ります。



1-3 計画の性格づけ

本計画は、本町の観光振興をどのような方向を目指すのか、そして目指す方向を実現するためには、どのような取り組みを展開する必要があるのか。また、取り組み推進の主体は誰なのかを示した、指針としての性格を持った計画です。

1-4 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度から平成35年度までの10年間とします。

なお、計画の期間中において、社会情勢の変化や上位計画等の変更に伴い、計画の見直しが必要となった場合には、必要に応じた見直しを行うものとします。

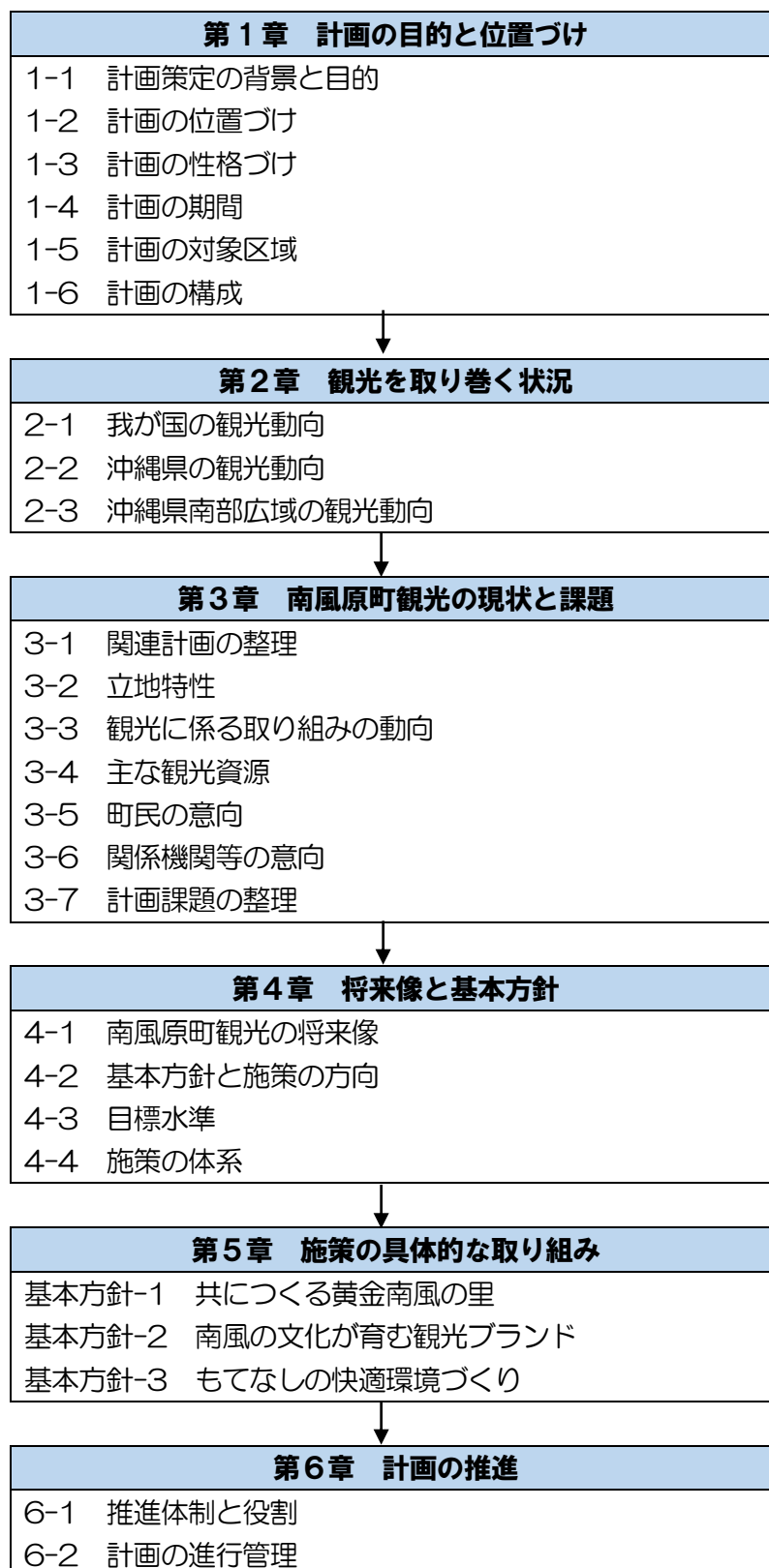
1-5 計画の対象区域

本計画の対象区域は、南風原町全域とします。

ただし、観光施策の展開ために広域的な取り組みが必要とする場合は、関係地域を含めて対象とします。

1-6 計画の構成

本計画の構成を以下に示します。



第2章 観光を取り巻く状況

2-1 我が国の観光動向

(1) 我が国の観光施策

①観光立国の推進

国は、「観光立国の実現」を国家戦略として位置づけ、それまでの「観光基本法」を全面的に見直した「観光立国推進基本法」制定しました。この法律を踏まえ、観光立国の実現に向けた基本的な計画として「観光立国推進基本計画」を策定しています。この基本計画では、「国内外から選好される魅力ある観光地域づくり」、「オールジャパンによる訪日プロモーションの実施」、「国際会議等のMICE分野（会議、イベント、展示会、見本市など、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称）の国際競争力強化」、「休暇改革の推進」が主な施策としてあげられています。

②沖縄の観光振興に向けた支援策

沖縄の観光振興に関する国の支援策として、改正沖縄振興特別措置法による「観光地形成促進地域における優遇措置」をはじめ、「沖縄特例通訳案内士制度」、「沖縄県特定免税店制度」、「航空機燃料税の軽減」などが拡充されています。

③外国人観光客の誘致拡大と観光の高付加価値化

国の「沖縄振興基本方針」による産業の振興に関する基本的な事項として、観光・リゾート産業の持続的な発展に向けて、外国人観光客の誘致拡大と観光の高付加価値化のため、「観光関連施設の集積や公共施設の一体的・重点的な整備促進」、「質の高い人事の育成・確保等の受入体制の整備」、「滞在型観光の推進」、「他分野・産業と観光との連携促進」「MICEの誘致・開催」を図るとしています。

④沖縄数次ビザの発給

国は、平成23年7月より、個人観光で沖縄を訪問する中国人に対して、一定の要件を満たす場合に、3年間有効な数次ビザ（1回の滞在期間は90日以内）を発給する優遇措置を講じています。

（２）我が国の観光の特徴

①短期で回数の少ない国内宿泊旅行

平成24年の国民一人当たりの国内宿泊旅行回数は1.40回（平成18年は1.71回）です。また、国民一人当たりの国内宿泊観光旅行宿泊数は2.24泊（平成18年は2.74泊）です。このことから、国内宿泊旅行は、回数は少なく、かつ短期であることがうかがえます。

（資料：平成25年版 観光白書）

②日帰りが多い国内旅行

平成25年の日本人の国内観光旅行者数は、日帰り旅行が延べ2億430万人で、宿泊旅行が延べ1億7,876万人で、日帰り旅行が多い状況です。

（資料：平成25年版 観光白書）

③同行人数の少数化と旅行形態の多様化

宿泊観光の同行人数は、2～3人が突出して高く、次いで4～5人、6～10人と続いています。この動向は、同行者の多い層が減少し、少ない層が増加する傾向を示しています。

また、旅行目的は、従来の観て回る観光だけでなく、エコツーリズムやグリーンツーリズムをはじめとし、地域との交流や体験ができる観光へと、その種類は多様化しています。

（資料：平成22年度版 観光の実態と志向）

④情報源のインターネット化の進行

宿泊旅行に出かける際の参考とする情報源は、近年はインターネットが急速に伸びトップになっています。それまでは、家族友人の話、ガイドブック、パンフレット、旅行専門雑誌などが主流となっていました。インターネット利用は今後とも増加する傾向にあります。

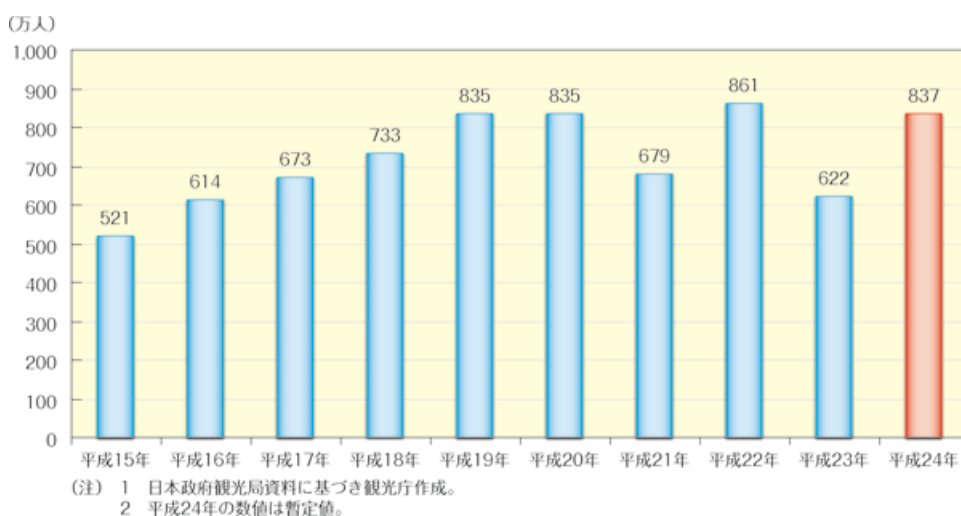
（資料：平成22年度版 観光の実態と志向）

⑤国際化の進展

我が国では、平成15年よりビジット・ジャパン・キャンペーンを展開しており、訪日外国人観光客が増加しています。平成24年の外国人旅行者数は837万人となり、過去最高の平成22年の861万人に次ぐ結果となっています。東日本大震災の影響からはほぼ回復したといえますが、尖閣諸島問題等の要因により全体的な回復には至っていない状況です。国別では、韓国、台湾、中国、米国などが上位を占めていますが、タイ、マレーシア、インドネシアなどの東南アジアからの訪日者数が増えてきています。

（資料：平成25年版 観光白書）

■訪日外国人旅行者数の推移



(出典：平成25年版 観光白書)

2-2 沖縄県の観光動向

(1) 沖縄県の観光施策

①世界水準の観光リゾート地の形成

沖縄県は、「沖縄県21世紀ビジョン基本計画」を踏まえて策定した「沖縄県観光振興基本計画（第5次）」（平成24年）において、計画の目標を、「『世界水準の観光リゾート地』の実現に向けて、沖縄観光が国内外に広く認知される基盤を構築することを目的」としています。

そして、目標フレームとして、観光収入1兆円、平均滞在日数5日、入域観光客総数1,000万人（うち外国客200万人）を設定しています。実現のための基本施策として、「多様で魅力ある観光体験の提供」、「基盤となる旅行環境の整備」、「観光産業の安定性確保」等を掲げています。

②県全域が観光地形成促進地域に指定

沖縄県は、地域の一体性に配慮しつつ、広域的に観光を振興するために、平成24年（2012年）に「観光地形成促進計画」を策定し、沖縄振興特別措置法第6条第2項第2号に基づく観光地形成促進地域を指定しています。平成24年策定の計画によると、県全域が指定地域となっており、本町は南部区域に属しています。

促進地域にあっては、観光関連施設を新・増設した場合に、国税や地方税の投資税額控除等、特例措置を受けることができます。

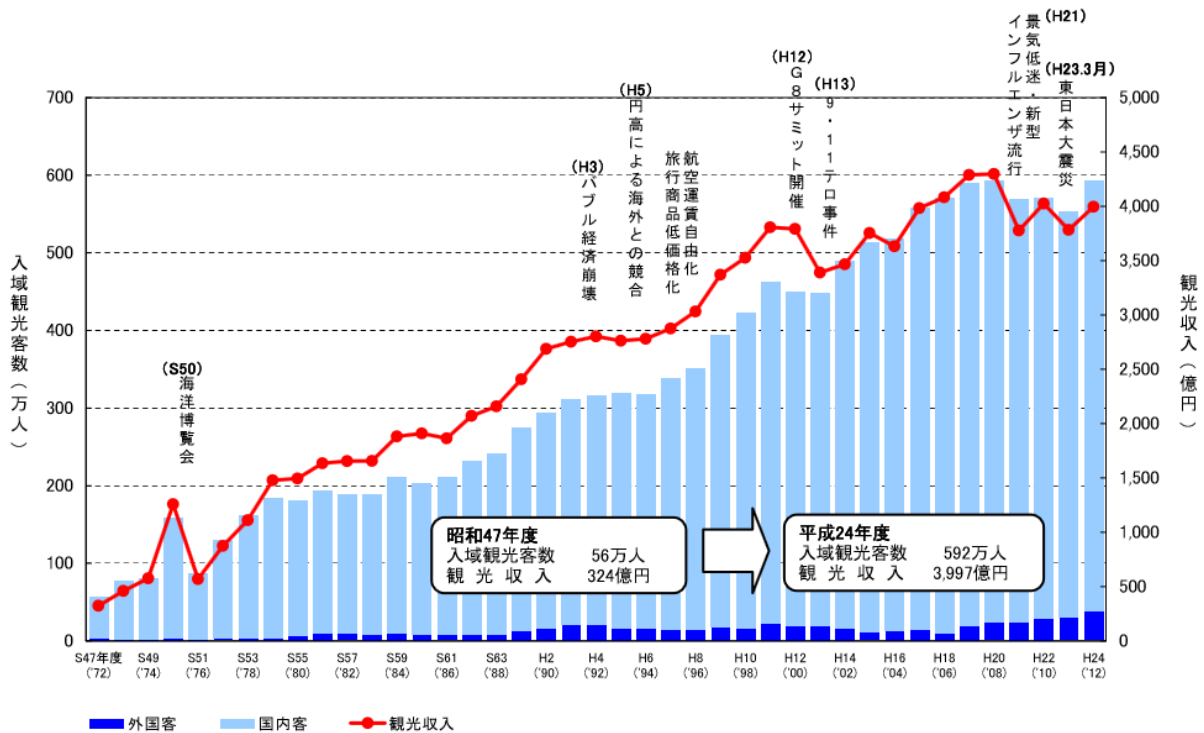
(2) 沖縄県の観光の特徴

①観光客数は増加傾向に転じ、外国人は順調

平成24年度の入域観光客数は592万4,700人で、前年度に比べ7.2%の増となっています。この内、国内客は前年度実績から31万5,600人（+6.0%）増加の554万2,200人、外国客は8万1,100人（+26.9%）増加の38万2,500人となっています。

(資料：平成24年版 観光要覧 沖縄県)

■入域観光客と観光収入の推移



(出典:平成24年版 観光要覧 沖縄県)

②国別観光客は台湾が多く伸びも大きい

平成24年度の国別の観光客数は、台湾が最も多く14万9千人、次いで中国本土の5万9千人、香港の5万6千人、韓国の4万5千人となっています。特に、台湾からは平成23年度に比べ3万3千人の増加となっています。これは、新規航空路線の定期便就航等により航空路線の増便やクルーズ船の寄港増加によるものといわれています。

(資料:観光要覧 平成24年版 沖縄県)

③観光収入は低調で、一人当たりの消費額も減少

平成24年度の観光収入は3,997億円で、平成22年度に比べ0.7%の減となっています。また、一人当たりの消費額は67,459円で、平成22年度に比べて4.4%減少しています。宿泊費や土産・買物費の下落傾向が続いています。

(資料:観光要覧 平成24年版 沖縄県)

④観光スタイルの変化、目的の多様化

年々、団体旅行が減少し、個人旅行が増加しています。また、旅行内容も多様化しています。

リピート率は、初回が約18%に対し、リピーターは約82%と、リピーターの多さがうかがえます。また、リピート率が高いほど、ダイビングや保養・休養などの特定目的活動が高くなる傾向にあります。

(資料:観光要覧 平成24年版 沖縄県)

⑤ 沖縄旅行は海美しさに満足

平成24年度の沖縄旅行の満足度は、大変満足の分野では、「海の美しさ」がトップで約66%、次いで「旅行全体」の54%、「スポーツ・レジャー」の47%、「森や川の美しさ」の47%などとなっており、自然とスポーツ・レジャーの高さがうかがえます。

また、大変不満の分野では、「交通マナー」の9%、「渋滞状況」の7%があげられ、交通に関するものが上位となっています。

(資料：観光要覧 平成24年版 沖縄県)

■ 「沖縄特例通訳案内士」育成研修の案内

資格区分	活動範囲	資格期限
通訳案内士	日本全国	期限なし
地域限定通訳案内士	沖縄県内	期限なし
沖縄特例通訳案内士	沖縄県内	平成33年度まで

沖縄特例通訳案内士について

現在、報酬を得て、外国人に対し、外国語で旅行に関する案内を業として行う場合には、通訳案内士試験(又は地域限定通訳案内士試験)に合格し、資格を取得する必要があります。

しかし、外国人観光客の増加による通訳案内士の絶対的不足に加え、ガイドニーズの多様化に対応するため、沖縄振興特別措置法により、沖縄県が実施する研修等を修了した者が、沖縄特例通訳案内士として平成33年度までの間、通訳案内士として活躍することができるようになりました。

研修カリキュラム

研修項目	研修内容	時間
語学 ※	外国人観光客を円滑に案内できる語学力を習得します。	48時間
地元学	沖縄県の概況、観光の現状等に関する知識を幅広く習得します。	12時間
ホスピタリティ	国別のマナー・習慣を踏まえた、観光客が満足できるサービス提供能力を習得します。	12時間
プレゼンテーション	国別のマナー・習慣を踏まえた表現方法、観光客に納得を生じさせないコミュニケーション能力を習得します。	30時間
旅程管理	一般的な旅費管理知識及び交通事情等、沖縄の実情を踏まえた旅程管理を習得します。	12時間
救急救命	日本赤十字社・県内消防本部等が行う「基礎救急」「救急救命講習」を受講し、AEDの取扱いや応急手当の知識・技術を習得します。	3時間
現場実習	総合的な観光案内実務を習得します。	35時間

※通成コースでは「語学」研修は実施しません。
※沖縄県に住所を有し、かつ、1年以上居住している方が受講対象者です。

いよいよスタート!

平成25年度
**沖縄特例通訳案内士
育成研修が
始まります!**

中国語 韓国語 英語

あなたも通訳案内士に!

Welcome to OKINAWA!

お問い合わせはこちらまで

沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課
那覇市泉崎1-2-2 (県庁8階)
TEL.098-866-2763
aa081100@pref.okinawa.lg.jp

(出典：沖縄県文化スポーツ部観光政策課リーフレット)

2-3 沖縄県南部広域の観光動向

①広域行政による観光の取り組み

南部広域の5市4町6村で構成する南部広域市町村圏事務組合、南部市町村会及び財団法人南部振興会は、圏域における広域行政の多岐・分散構造を整理・統合し、情報の一元化、広域行政組織の密接な連携による一体的、かつ、効率的な事務事業の強化・充実を図るため、平成16年4月にそれぞれの事務局を統合し、新たな広域行政体制により、圏域の振興発展に向けて取り組んでおります。

観光に関しては、南部の見どころとしての「なんぶなモノ」、「なんぶの島々」、「南部の歴史・文」を紹介する「まるごと！なんぶ沖縄」のホームページを開設し、地域全体に対する情報を発信しています。

また、観光案内については、観光案内のホームで、観光マップ、観光施設・レジャースポット、おすすめ観光コース、なんぶ観光のお問合せ、案内ガイド、体験プログラム、警察・救急・アクセス情報等に関する情報を発信しています。

②沖縄南部広域観光協会

沖縄南部広域観光協会は、平成23年度（2011年）に設立され、沖縄県南部地域6市町（糸満市、南城市、豊見城市、南風原町、与那原町、八重瀬町）と、農協、漁協、教育委員会、商工会などによって構成され、これらが連携して広域的な観光の取り組みを行っています。

具体的には、1次産業体験・自然体験・平和学習などプログラム開発や民泊受け入れ体制の整備を進めています。



第3章 南風原町観光の現状と課題

3-1 関連計画の整理

■第四次南風原町総合計画（基本構想・後期基本計画）（平成24年）

南風原町は、町の将来像を「ともにつくる ^{こがねはえ}黄金南風の^{さきと}平和郷」としています。

観光に関するまちづくりの目標や目標を達成するための柱としては次のように設定されています。

○まちづくり目標：工夫と連携で産業が躍動するまち

○目標を達成するための柱：ネットワークで創るレクリエーション・観光の振興

観光は、沖縄県の重要な産業であり、南風原町も立地や地域個性を活かすことで多様な展開の可能性を有しています。町立南風原文化センターを拠点として自然・文化・歴史資源を伝える各種基盤及び推進体制を整え、その集客力を活かして地場産業及び観光関連産業の新たな展開を目指します。

施策の展開としては、次の4施策と3つの重点事業があげられています。

《施策》

- ①観光推進体制の強化
- ②新たな観光資源の整備・活用
- ③歴史文化資源の保全活用
- ④地場製品の活用と開発促進

《重点事業》

- ①町立南風原文化センターの平和学習拠点としての体制づくり
- ②地域案内人の養成
- ③産業間連携支援による観光関連事業の創出

3-2 立地特性

本町は、那覇空港から車で20分程度のところに位置し、県都那覇市をはじめとする6市町村に囲まれ、県内では唯一海に面していない町です。

那覇空港から交通アクセスは、国道331号から那覇空港自動車道を通して本町に至る交通の便の良いところです。

また、東西方向には国道329号が走り、県都那覇市方面の西海岸部と、与那原町や西原町方面の東海岸部とを結ぶ交通の要所となっています。さらに、この東西方向に加え、沖縄自動車道の南風原北インターチェンジや南風原南インターチェンジで南北方向を連結し、沖縄島の交通の要所ともなっています。

浦添市、那覇市、南城市、八重瀬町及び糸満市などの主要観光地を結ぶ経路は、本町を経由して結ばれる観光経路の要所ともなっています。

3-3 観光に係る取り組みの動向

- ①町は、来訪者の宿泊拠点である那覇市から沖縄本島南部地域への通過地にすぎないことが課題に対し、「琉球かすりの里」、「平和学習の拠点」として来訪者を受け入れ、また多様な交流事業を展開しています。
- ②町内のレクリエーション・観光資源は、歴史・文化資源をはじめ、町民の余暇・レクリエーション施設が立地しています。特に、琉球かすりは、国の伝統的工芸品の指定を受けて高く評価されており、琉球かすり会館やかすりの道の整備により観光振興の支援を進めています。
- ③戦跡地である黄金森では、沖縄陸軍病院南風原壕群の調査・整備を進めています。平成18年度には壕群20号を整備し、平成19年度からは壕内を一般公開しています。年間約1万人の入込があります。
- ④平成21年には文化・平和学習の拠点として「町立南風原文化センター」が整備され、関係機関・団体等の連携のもとでの観光振興への活用も期待されています。年間約2万人の入込があります。
- ⑤町では、町商工会との連携のもとで、地域に根ざした多様な活動の展開による観光振興のための体制づくりを進めています。
- ⑥平成22年度には沖縄本島南部6市町（南風原町・豊見城市・糸満市・南城市・与那原町・八重瀬町）の連携・協力のもとでの観光受け入れ体制づくりを進めるため、「沖縄南部広域観光協会」が設立され、同協会の活動を通じた観光事業の振興が期待されています。
- ⑦平成25年4月に「一般社団法人南風原町観光協会」が設立され、本町の観光振興が官民連携のもとに、南風原町のPRや観光資源の紹介、各種イベントの開催をはじめ、各種施策が展開されています。

3-4 主な観光資源

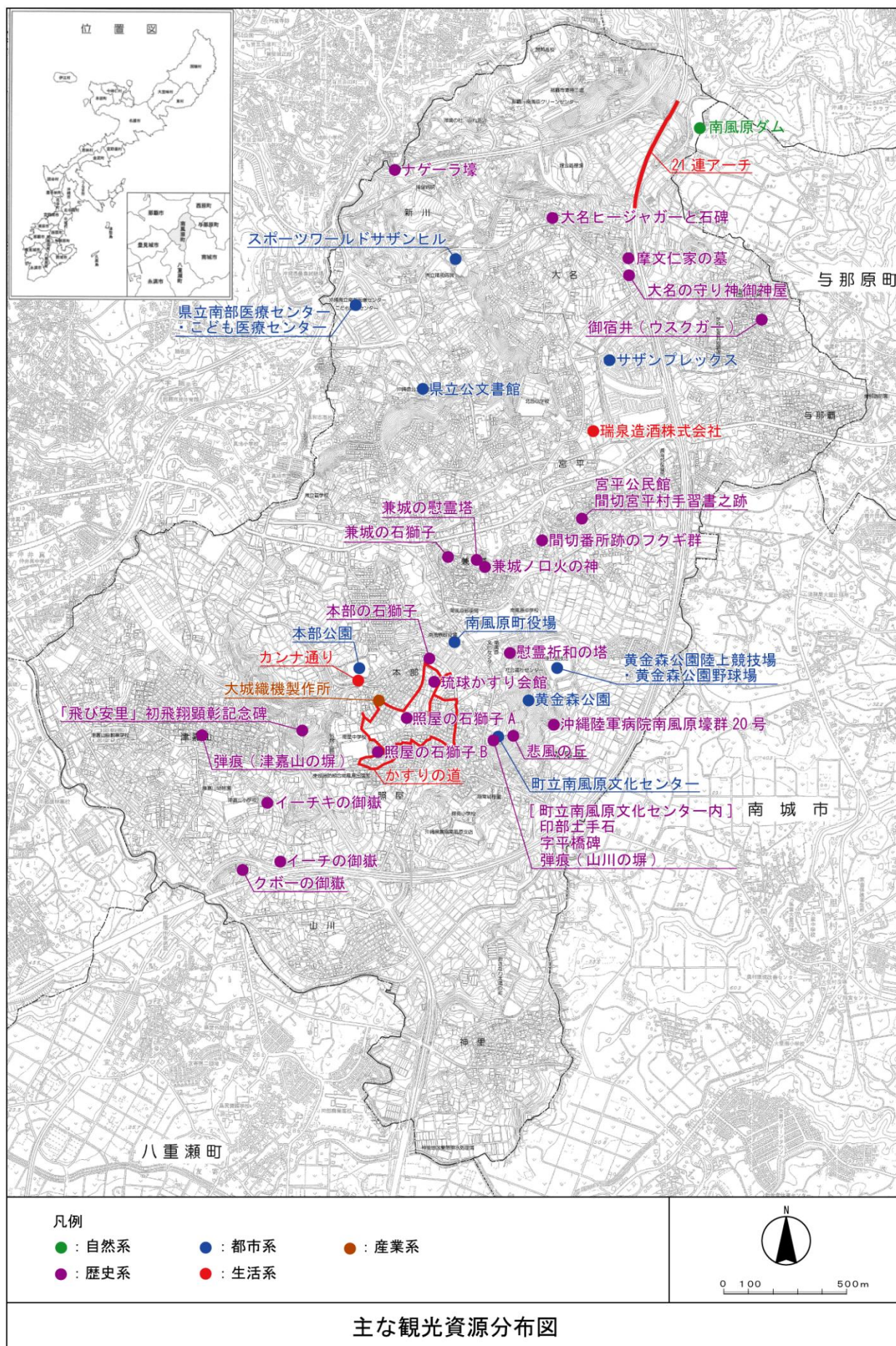
本町には、観光資源分布図に示すように多数の観光資源があります。

資源は、歴史的な文化財や伝統芸能、行事、伝統的な産業・特産品など多種多様にわたっています。本町固有の他では見られないような特質すべきものとして、平和学習の沖縄陸軍病院南風原壕群20号、町立南風原文化センター、伝統工芸琉球絃の琉球かすり会館とかすりの道、世界一の21連アーチ橋、世界初飛行の「飛び安里」、ウルトラマンをつくった男「金城哲夫」、特産品の「かぼちゃ」とへちまの「はえばる美瓜（はえばるびゅうりー）」、県内唯一のアイススケート場などがあげられます。

旅先での安全・安心の支えとなる医療施設は、本町には県立南部医療センターをはじめ多くの施設が立地しています。

このように、観光地としての好条件は整っているものの、観光の町としてのイメージは低く、観光資源の周知度も十分とはいえない状況にあります。

また、滞在や会議等に必要なホテル・旅館等はなく、通過型の観光地となっています。



本町の主な観光資源リストは次のとおりです。なお、個別資源ごとの内容については資料編に「南風原町の主な観光資源」として掲載しています。

■南風原町の主な観光資源リスト

大分類	中分類	資源の名称
自然系	道路・河川	南風原ダム
	動植物	中毛小のガジュマル
		ストレチア
		はえばる美瓜（はえばるびゅうり：へちま）
		かぼちゃ
歴史系	建造物	摩文仁家の墓
	文化遺産	照屋の石獅子A
		照屋の石獅子B
		「飛び安里」発飛翔顕彰記念碑
		本部の石獅子
		兼城の石獅子
		沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号
		悲風の丘
		大名ヒージャーカー・石碑
		印部土手石
		御宿井（ウスクガー）
		字平橋碑
		間切番所跡のフクギ群
		浦島太郎伝説 ウサン御嶽
		大名の守り神 御神屋
		南風原町間切宮平村・手習書之跡
		公方の御嶽
		イーチの御嶽
		イーチキの御嶽
		第 62 師団野戦病院壕跡（ナゲーラ壕）
		兼城の慰霊塔
		弾痕（津嘉山の塀）
		弾痕（山川の塀）
		慰霊祈和の塔
		新川エイサー
		兼城の揚作田
		宮平の総掛（かしかけ）
		宮平の獅子舞
		舞方棒
		喜屋武の十五夜遊び

大分類	中分類	資源の名称
歴史系	文化遺産	喜屋武の長者の大主
		神里の獅子舞
		神里エイサー
	偉人	新垣 弓太郎
		金城 山戸
		金城 哲夫
		儀保 蒲太
		飛び安里
		金城 亀
都市系	学習施設	沖縄県立公文書館
		南風原町立図書館
		伝統工芸指導所
	公園・緑地等	黄金森公園
		本部公園
		宮城公園
		神里ふれあい公園
		南風原町役場町民広場
		環境の杜ふれあい
		新川公園
		花・水・緑の大回廊公園
	集会施設	南風原町立中央公民館
	商業施設	イオンタウンマックスバリュースタイル日橋店
		イオン南風原ショッピングセンター
		サンエーつかざんシティ
		うちなーゆ
		岩盤癒サザンヒル店
	文化・スポーツ施設	スポーツワールド サザンヒル
		黄金森公園陸上競技場
		黄金森公園野球場
		ラウンドワン沖縄・南風原店
		サザンプレックス
		南風原町立南風原文化センター
	その他の施設	はえばるエコセンター
		南風原町総合保健福祉防災センター
		県立南部医療センター・こども医療センター
生活系	街路・町並み	カンナ通り
		かすりの道
		21連アーチ橋
	行祭事	与那覇大綱曳き

大分類	中分類	資源の名称
生活系	行祭事	照屋の綱曳き
		津嘉山の綱曳き
		宮城の綱曳き
		兼城の綱曳
		喜屋武の綱引き
		新春マラソン大会
		かすり駅伝
		はえばるふるさと博覧会
産業系	産業	琉球かすり
		南風原花織
		瑞泉酒造 南風原工場
		大城織機製作所
		泡盛「南風原」

■植物・特産品「ストレッチア」



■文化遺産「沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号」



■スポーツ施設「黄金森公園陸上競技場」



■行事「宮城の綱曳き」



3-5 町民の意向

町民の観光に関する意向を把握するためにアンケート調査を行いました。

(1) 町民アンケート調査の実施概要

○町民の20歳代から70歳代までの方を1500人抽出して観光に観光するアンケート調査を実施しました。

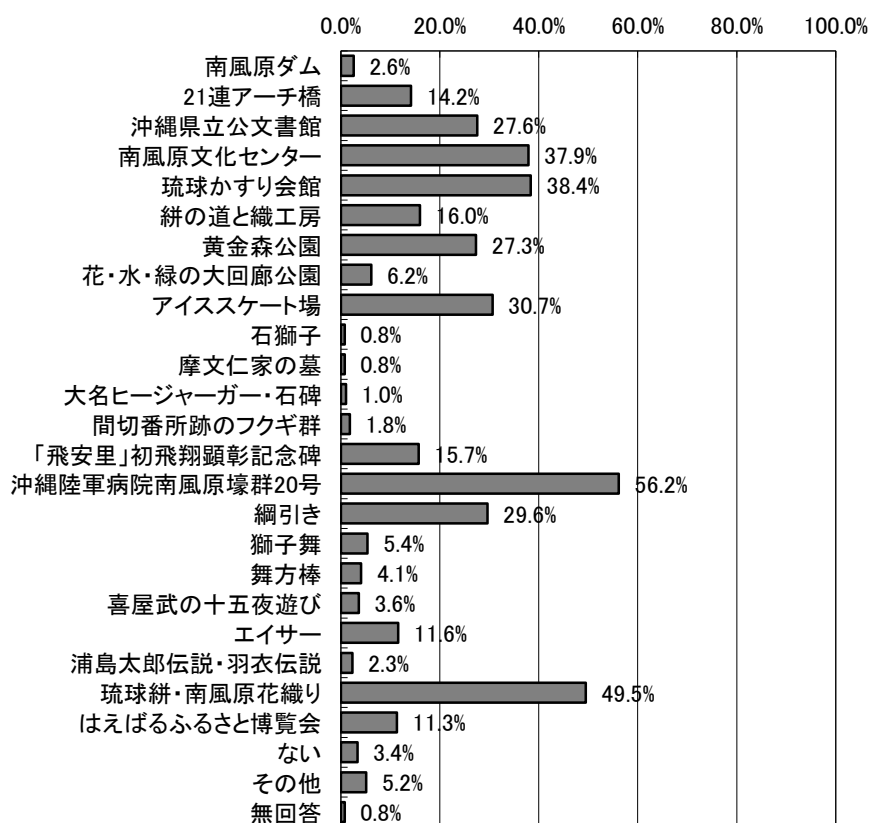
○回収状況は、回収票数388票（信頼度約95%）、回収率25.9%となっています。

(2) 調査結果の概要

1) 誇れる・有望な観光資源

問5 あなたが思う、南風原町で誇れる又は有望な観光資源は何ですか。（5つまで○）

○誇れる又は有望な観光資源として、沖縄陸軍病院南風原壕群20号が最も多く、次いで琉球絃・南風原花織り、琉球かすり会館、町立南風原文化センター、アイススケート場、綱引き（曳き）などがあげられています。



2) 人に勧める観光資源や特産品等

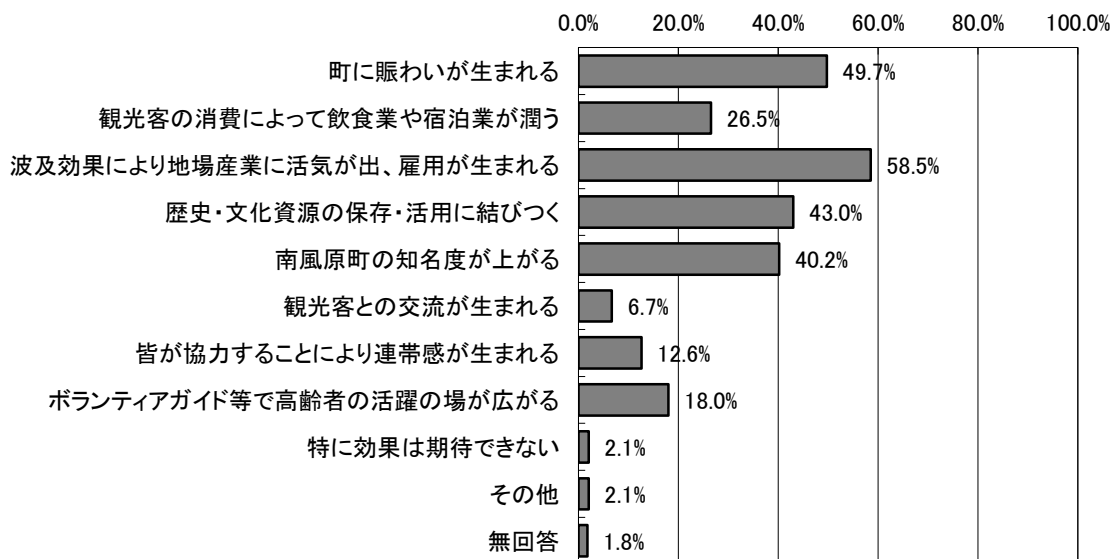
問6 あなたが県・町外の友人や知人に勧める南風原町の観光資源や産物、食、郷土料理は何ですか。(自由記述)

○農産物のかぼちゃが圧倒的な多さであげられています。次いで、琉球かすり、沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号等の戦跡、花のストレッチャ、平和学習等の町立南風原文化センター、農産物のへちま（はえばる美瓜）、お菓子の津嘉山ロール、花織り、綱曳き等の地域の祭り、スケート場のサザンヒルアイスアリーナーなどがあげられています。また、食については、津嘉山ロールやへちま（はえばる美瓜）をはじめ多数あげられています。

3) 観光振興に期待すること

問7 あなたが観光振興の結果として期待することは何ですか。(3つまで○)

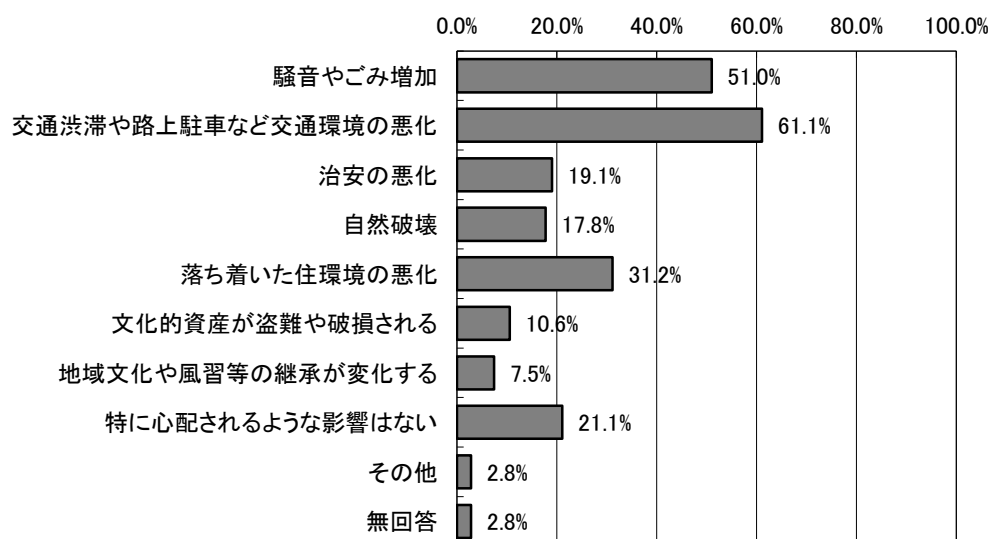
○期待することは、地場産業の活気・雇用が最も多く、次いで、町の賑わい、歴史文化資源の保存・活用、南風原町の知名度の向上などが上位であげられています。



4) 観光客増加に伴う心配ごと

問8 観光客が増加することにより心配される影響は何ですか。(3つまで○)

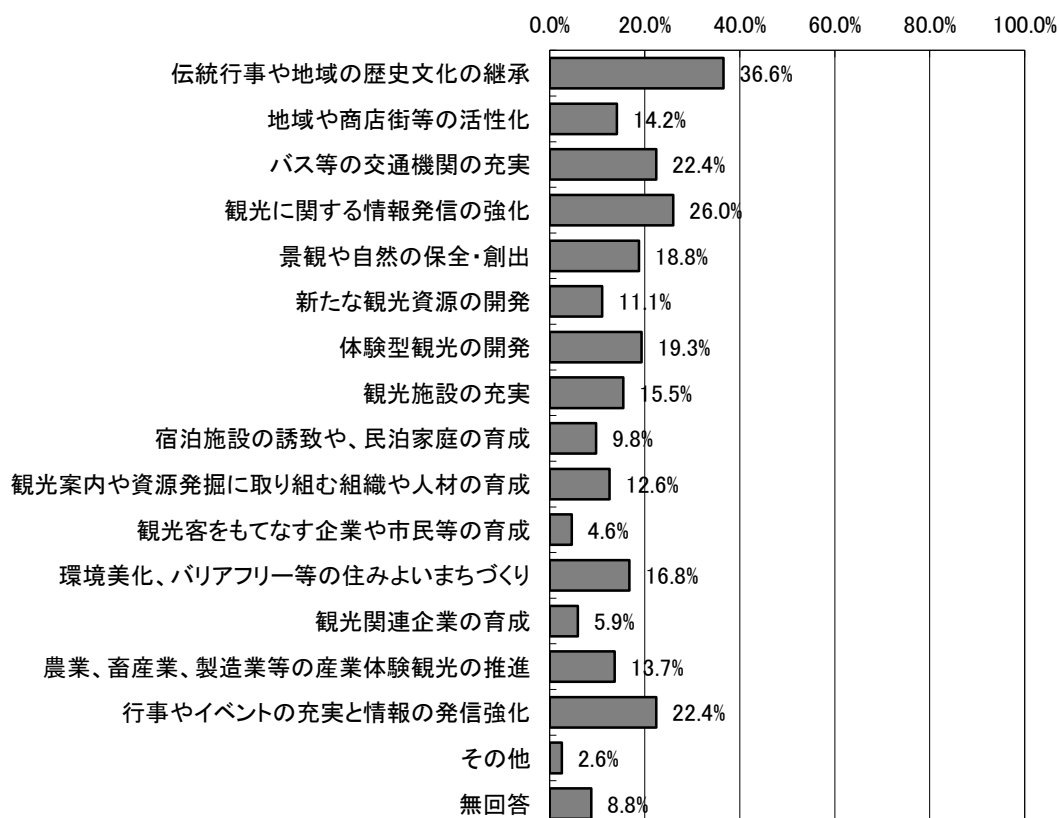
○心配されることは、交通環境の悪化、騒音やごみの増加、住環境の悪化などが多くあげられています。



5) 観光振興を図る上で必要なこと

問9 南風原町の観光を振興する上で必要と思われるものは何ですか。(3つまで○)

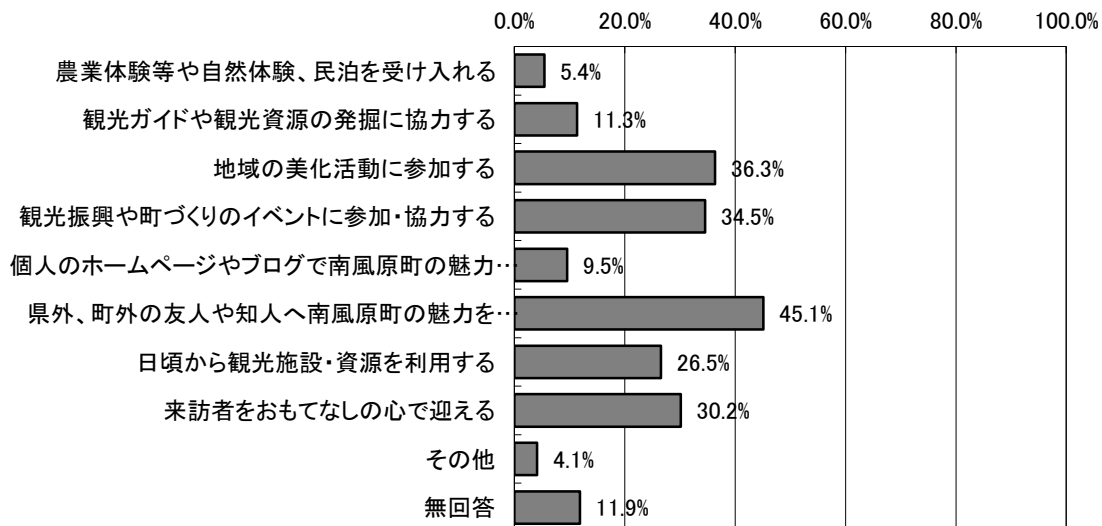
○観光振興に必要なこととして、伝統行事や歴史文化の継承が最も多く、次いで、観光情報発信、行事やイベントの充実、バス等の交通機関の充実、体験型観光の開発、景観・自然の保全・創出、などがあげられています。



6) 観光振興への関わり意向

問 10 あなたは、町民としてどのような形で観光振興に関わっていますか、又はいきたいと思いますか

○関わりの意向については、友人や知人への紹介、地域の美化活動への参加、観光振興や町づくりイベントへの参加・協力、来訪者のもてなし、などが上位となっています。



7) 自由意見

自由意見の概要を整理すると次のとおりです。

①問題点

- 町民が南風原町の観光資源について良く知らない。まずは町民への広報。
- 町民が南風原の特産品フルーツやかぼちゃをどこで食べられるか知らない。町内のスーパーに売っていない。地元で入手しやすい体制が必要。
- 首里や那覇市への通過点になっている。

②観光プログラム

- 体験型観光の創出（かすりの機織り体験、赤豚・子牛のふれあい体験、乗馬、南風原ダムをボートで水遊びできるような池として整備する）
- 黄金森運動公園を利用したスポーツイベントの企画（サッカー・野球等プロチームのキャンプ誘致）
- 南風原の特産品（フルーツ、かぼちゃ、豚、花、かすり）等を扱った道の駅や市場の整備（空いている土地や高速道路下の場所の活用）
- 「飛び安里」にちなんだ紙飛行機大会の開催

③魅力ある物づくり

- 特産品のブランド力を高めるための企画・コンペ（賞金付き）等の開催

④観光拠点の整備

- 宿泊できるところが無いため、宿泊施設の創出または民宿を充実させることが必要。

⑤観光地の雰囲気づくり

- 「みんなが住みたいまち」をテーマに住民が住みよい環境づくりを進め、その結果、観光地になるのが理想（カナダのバンクーバーのように）
- 沖縄らしい街並みの創出
- 観光資源の案内（看板数）の充実

⑥観光 PR の方法

- twitter、facebook、YouTube などインターネット媒体を活用した観光 PR
- はえるん（ゆるキャラ）を活用した観光 PR

⑦交通

- 役場や中央公民館でイベント開催時には大変な交通渋滞、路上駐車がひどいため、駐車スペースの確保
- 鉄軌道導入の検討
- 観光資源はバス通りの少ない交通の便が悪い場所にあることが多いため、観光資源までのシャトルバスや周遊バスが必要

⑧人材育成

- 特産物を活かした観光振興を展開するための開発・指導者の育成
- 観光振興の発展のために高齢者の雇用

3-6 関係機関等の意向

観光関連の団体及び事業者等にヒアリングを行い、観光に関する現状及び課題、対応策等についての意向を把握しました。その結果の概要は次のとおりです。

①主な観光資源・プログラムの状況

- 沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号は、年間約 1 万人が訪れており、主は修学旅行の利用者であり、平和学習として活用されている。
- 町立南風原文化センターには、戦争と民俗に関する展示場があり、前述の 20 号と合わせ、平和学習や社会学習として、主に修学旅行者に利用されている。年間約 2 万人の利用がある。

②南風原町の認知度、情報発信、プロモーション

- 南風原町の認知度は、全国に対しては低いといえるほど低い。
- 外に対して宣伝する手段が少ない。
- 南風原という名前を売り出す。南風原いわれを発信する。
- 各字のマップを作成、地区の情報の発信と、住民の意識啓発に役立っている。
- 良いと思った商品でも、相手側の理解を得るまでには大変な労力を必要とする。

③観光客の対象

- 観光客の対象を誰にするのかははっきりしていない。ターゲットをしぼる必要がある。例えば、県外の修学旅行者なのか、一般者なのか。
- 対象者のしぼり込みにより、広告・宣伝の媒体が決まり、観光商品のしぼり込みもできる。

④観光現状把握、課題、プログラム開発等

- 1 点ものでは観光商品になりにくい。点と点を結ぶ商品の開発。例えば、四国の八十八カ所巡りなどのように。ウォーキングでもよい。
- かすりの道にはトイレがなく、利用者が不便を感じている。
- 現状の立地条件を活かした取り組みを推進することが効果的ではないか。例えば、浦添や那覇から玉泉洞や斎場御嶽方面に行く観光、またその逆コースの場合も必ず南風原町を経由していく経路となっている。バス数十台から多い日には 100 台以上となる。これを南風原町に止める工夫が必要である。
- さらに、空港から北部方面へ、またその逆の場合も、空港から中城パーキングエリアの間に休憩や買い物する場がない。南風原南インターと南風原北インターを活用した休憩、買い物、観光等のサービス提供が期待される。例えば、高架下に休憩場、特産品販売、ウルトラマンロードなどを設ける。
- 沖縄観光の課題として、雨天時の対応が求められている。これらに対する取り組みが考えられないか。
- 陸上競技場や野球場を活用したスポーツ観光を検討したらどうか。合宿などの利用は可能である。宿泊については、空きマンションや空きアパートなどの活用方法を検討する。

⑤人材資源と育成

- 平和ガイドは 10 年前よりはじめられた。現在、74 名のガイドがいる。積極的に行ってい

る人は25人程度あり、ガイドも年々減少しており、継続的な育成が必要である。

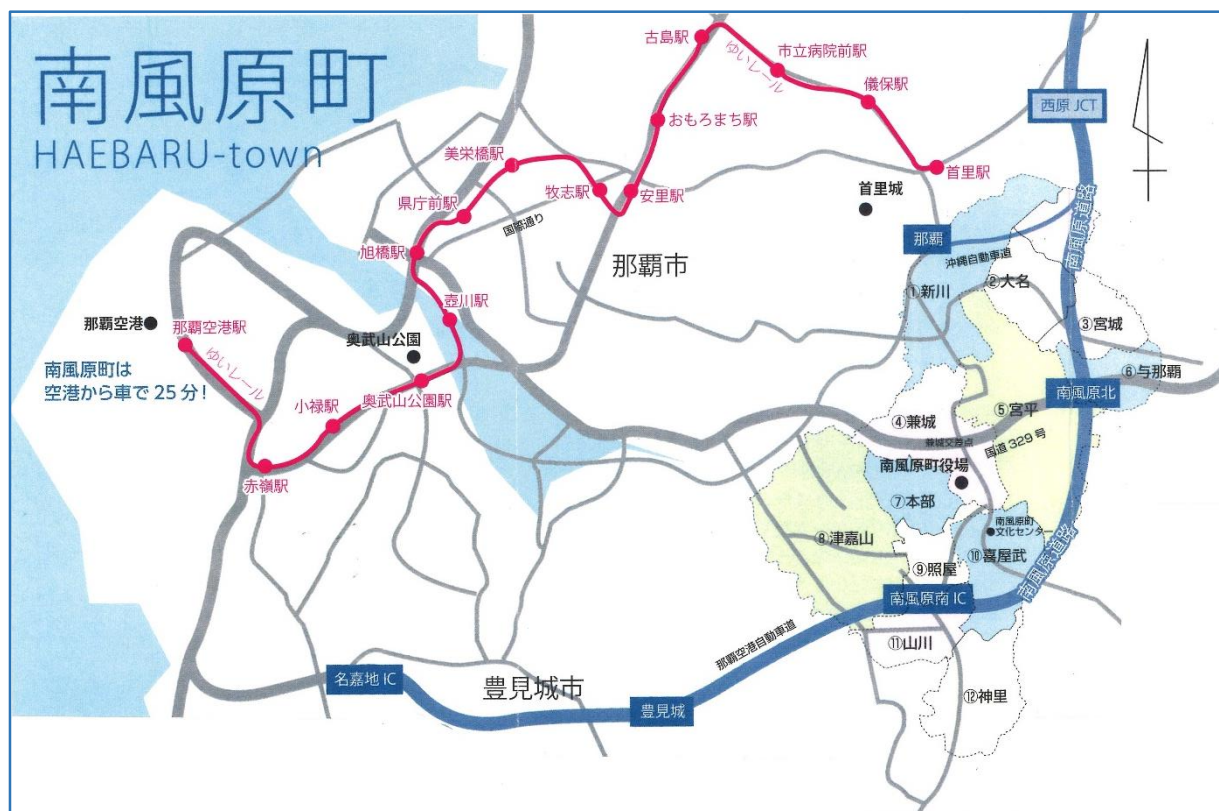
⑥推進母体の強化

- 資源はあるが、これを商品にして売り出すなどのプロモーション活動を主体的に行う機関が必要である。
- 観光協会なども自立運営できるような取り組みが必要である。
- さまざまな機会をとらえて、観光の事業化を試み、実践していくことが大切である。

⑦観光まちづくりと町民意識等

- 町民が観光に目を向けつつある。
- 人の心が観光になる。心の観光。例えば、かすりの道の案内の場合、そこに住んでいる人が地元の立場で話すと情景が伝わり、感動がある。
- 観光はまちづくりである。
- 箱もの（投資や時間の問題等あり）より創意工夫による着実かつ実行可能な観光振興を目指すことが大切である。ハード面は長期的な視点でとらえる。
- 長期的な考えで交通網の整備をするなら、空港から首里、南風原等を通して環状機能を持ったモノレールの整備を考えたかどうか。観光、住民にとっても便利であり、活性化が期待されるのでは。

■南風原町の位置と主要交通網



(出典：南風原町案内リーフレット)

3-7 計画課題の整理

本町を取り巻く観光の動向と、本町の観光の現状及び町民の意向等から、観光振興を図るうえで次のような課題があげられます。

①町民意識の向上

- 他地域には見られない特異な観光資源を有していながら、町民の評価や観光業の取り組みは低いといえます。しかしながら、沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号の公開や町立南風原文化センターの利用増加、琉球かすり会館とかすりの道の周知、金城哲夫生誕 75 年祭などの各種イベントの開催、南風原町観光協会の発足などを契機として、観光に対する機運は高まりつつあります。
- 町民が観光資源について良く知らない、また特産品のかぼちゃやフルーツなどをどこで買えるのか・食べられるかを知らないなど、町民が地元を良く知ることから始める必要があります。
- 観光の光を直接見せるのは、町民の一人ひとりです。もてなしの心を持った町民の育成が必要です。これには観光に携わる者のみでなく、全町民的な取り組みと気運づくりが大切です。

②推進する人材と組織の育成

- 沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号等を案内する南風原平和ガイドの方がおり、利用者にきめ細かく説明・案内をしてくれます。しかし、年数がたつにつれて、減少しているといわれています。継続的な育成と増員を図る必要があります。
- 観光資源の活用やプログラム開発及び実行するための人材育成が必要です。
- 本町の観光の推進母体として、平成 25 年に発足した南風原町観光協会があります。対外的な認知度が低いことや、観光商品の開発とそのプロモーション活動を展開するためには、観光協会の強化を図るとともに、関係機関との協力及び連携の組織化と育成が必要です。
- 全町的な展開を進めるためには、町民、事業者、関係機関、行政が一体となり、それぞれの役割を果たすことが大切です。

③南風原町の魅力の発信・PR

- 南風原町には一級品の観光資源がありますが、町外、県外においてあまり知られていないというのが実情です。役場をはじめ、南風原町観光協会や南部広域市町村圏事務組合等のホームページで情報発信がなされていますが、あらゆる機会や各種媒体を使っでの宣伝を行う必要があります。
- イメージキャラクターによる PR 効果は高く、各地で力を入れた取り組みがなされています。本町のイメージキャラクターである「はえるん」を観光 PR に積極的に活用するとともに、イメージの定着を図る必要があります。

④魅力ある南風原ならではの観光プログラム作成

- 南風原町には一級品の資源や有利な地理的条件等を有しています。しかし、これらが有効かつ効果的に活用されていない状況にあります。特異な資源そのもの、又は複数の連携による魅力度アップにつながる活用とプログラム開発が必要です。
- 特に、魅力度が高く、かつ知名度、実績のある沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号や町立南風原

文化センター、かすり会館とかすりの道、21 連アーチ橋、飛び安里、ウルトラマン、かぼちゃはえばる美瓜（へちま）などを核にしたプログラムが有効と思われます。

○本町は、通過型の観光となっています。そのほとんどが立ち寄ることなく、経路として通過していく状態です。しかし、本町の地の利を見ると、南部域の主要観光地間を結ぶ経路は本町を経由して行く、そして空港と中北部とを結ぶ地点でもあるといった状況にあります。南部観光では、1 日当たりバスで 100 台を超える日もあるといわれています。このまっただの通過から本町に立ち寄るサービスやプログラムを提供し、地の利を生かした観光地形成を図る必要があります。これは、実行性から見て効果的なものと考えられます。

○持てる資源の有効活用を推進する必要があります。本町には、陸上競技場や野球場をはじめ、全国的にも珍しい通年型のアイススケート場などのスポーツ施設があります。沖縄におけるスポーツ観光の機運は高まっており、本町の施設を有効活用することは、観光面のみならず、町民のスポーツ振興にも寄与するものと考えられます。

○本町の観光資源の特徴としては、歴史文化と産業を基軸とした資源が豊富です。これらの資源の連携による効果的なプログラム提供はもとより、これらに携わっている人や組織・企業等の連携を図り、新たな資源の発掘やお土産等の特産品の開発を行う必要があります。そのことにより全町的な観光まちづくりのきっかけや、産業振興へもつながることになります。

⑤住んでいる人が・訪れる人が豊かさを感じるまちづくり

○訪れたい町は、自然や文化に根差した風情のある町であるといえます。そのためには、まず住んでいる人たちが豊かさを感じるような風土ができていることが大切です。具体的には、かすりの道やカンナ通りのような地域や風土に根差した町並みや緑化による風景づくり、公害のない快適で美しいまち、だれもが利用しやすい施設づくりなどがあげられます。

○特に、来訪者にとっては、施設案内、交通施設等の利便性、障がい者等への配慮、災害や傷病など万一の時の安全・安心の確保や環境への配慮などは大切な視点としてあげられます。さいわい本町には県立南部医療センターをはじめ多くの医療機関があることから安心はもとより、医療ツーリズム、スポーツツーリズムへの活用なども視野に入れた取り組みが期待されます。

■南風原町の風景



（出典：「はえばる日和」南風原町商工会）

第4章 将来像と基本方針

4-1 南風原町観光の将来像

本町は、県都那覇市と東海岸地域の東西方向を結び、また那覇空港や南部地域と中・北部地域の南北方向を結ぶ交点に位置し、沖縄本島の交通の要所となっています。そのため、近郊の北に位置する首里城や浦添城址と南部地域の玉泉洞や斎場御嶽などの主要観光地とを結び、主要経路の要所ともなっています。

地形的には比較的緩やかな丘陵地からなり、沖縄県下で唯一海に面しない町です。この丘陵地は、古くから自然豊かな田園地帯として発展し、多様な産業や文化・芸術を育んできました。特に、農産物の「かぼちゃ」や「はえばる美瓜（へちま）」、工芸品の「琉球かすり」、歴史的な世界初飛行の「飛び安里」などは有名です。

一方では、先の大戦時に沖縄陸軍病院等の主要施設があったことから、たいへん悲惨な歴史も残されています。現在は、これらを後世につなぐため保全するとともに、平和学習の拠点として活用されています。

また、本町のまちづくりの方向は、「第四次南風原町総合計画」において、町の将来像を「ともにつくる こがねはえ 黄金南風の平和郷」を掲げ、豊かで平和な町を町民が一体となって創りあげていこうという意志が示されています。さらに、この総合計画における観光の振興については、産業が躍動するまちづくりの項で「ネットワークで創るレクリエーション・観光の振興」を達成するための柱として掲げています。

こうしたまちづくりの大きな流れを踏まえながら、本町ならではの観光振興を推進していくためには、まずは、地域に住んでいる人々が地域を知り、そして誇りを持って住み続ける町をつくり、それを広く発信し、訪れた人々が豊かさを「観」「体験」「感動」し、再び訪れたいくなるようなサービスを提供する必要があります。また、推進に際しては、行政はもとより、町民、事業者、観光協会等の関係機関及び町外の応援者が一体となって、それぞれの役割に応じて取り組んでいく必要があります。

これらのことを踏まえ、光り輝く誇りあるまちをつくり、南風原を訪れて人と地域の豊かさを感じ、再び訪れたいくなるような観光まちづくりを目指します。

このような基本理念から本町の観光振興のコンセプトを次のとおりとします。

は え 南風の光を育み 訪れて感動のまち こがねはえ 黄金南風の里

4-2 基本方針と施策の方向

観光まちづくりの将来像を実現するために、「共につくる黄金南風の里」「南風の文化が育む観光ブランド」「もてなしの快適な環境づくり」を基本目標として定めます。

基本方針-1 共につくる黄金南風の里

観光振興を進めるに当たり最も基本となるのは「人」です。人を育て、南風原町の魅力を町民の皆で創出し、そして訪れた人々を心からおもてなしできる受け入れ体制づくりを目指します。

《施策の方向》

- 観光に携わる人だけではなく、町民が地域の魅力を知ることにより、誇りを持つことにつながり、そして訪れる人をもてなす心が育まれるよう、観光まちづくり意識を醸成します。
- 観光を地域の振興産業として位置づけ、観光協会の強化や担い手人材の育成、まちづくり団体等の育成・連携を図ります。
- 南風原観光の魅力を広く知ってもらい、訪れるきっかけづくりをするために、観光関連情報の収集整理による充実、観光PRの促進・強化、プロモーション活動の強化を推進します。

基本方針-2 南風の文化が育む観光ブランド

本町には、南風の風土が育んできた固有の歴史文化、産業が息づいています。これらの多様な資源を活用し、南風原ならではの魅力ある観光ブランドを創り、町内外に発信するとともに、新たなブランドづくりを目指します。

《施策の方向》

- 本町固有の歴史文化、産業、行事、地域の魅力スポット等を活かした、本町ならではの観光プログラムの構築と提供を行います。
- 新たな観光ブランドの魅力づくりを構築するために、地域資源の発掘と再生を行うとともに、南風原特産の「食」の提供、農商工連携による新たな商品開発等を行います。
- 効果的な観光振興を推進するために、観光拠点の形成を図ります。また、滞在時間や観光の充実を図るための機能や施設の整備充実を推進します。
- 町外のさまざまな主体と連携及び協力することにより、本町の観光の広がりが期待されることから、広域的な体験活動の受入や南部地域ぐるみで取り組む広域連携を推進します。

基本方針-3 もてなしの快適環境づくり

訪れる観光客はもとより、住んでいる町民も含めたすべての人が心地よく楽しんでもらえるよう、交通の利便性、町並みの美しさ、安全・安心の確保など、観光を支える基本的分野の快適環境づくりを目指します。

《施策の方向》

- 交通の利便性を高めるために、公共交通の充実、エコカー・レンタサイクルの導入、駐車場の確保、ユニバーサルデザインの推進などを図ります。

○南風原町らしい、黄金南風の里の風景づくりを推進するために、地域景観としての原風景の保全と創出、花や緑豊かでごみ等のない美しいまちづくり、観光案内サイン等の充実などを推進します。

○観光客や住んでいる町民が安心して観光を楽しむ住むことのできるよう、防災情報の提供や観光施設の安全確保、医療情報の提供など充実を図ります。

4-3 目標水準

観光振興の取り組み効果を把握・評価するために、具体的な数値目標を設定します。

本町における現行の観光入込客数の実態は把握されておりませんが、沖縄陸軍病院南風原壕群20号の1万人、町立南風原文化センターの2万人、その他琉球かすり会館やかすりの道、各種イベント等を考慮すると少なくとも5万人程度の入込数はあるものと推察されます。

このことから、計画年度の平成35年度までに約3倍の15万人の観光入込客数を目標とします。

現行の観光入込客数(推計)

平成25年度

約5万人



将来の目標観光入込客数

平成35年度

約15万人

■世界一の21連アーチ橋



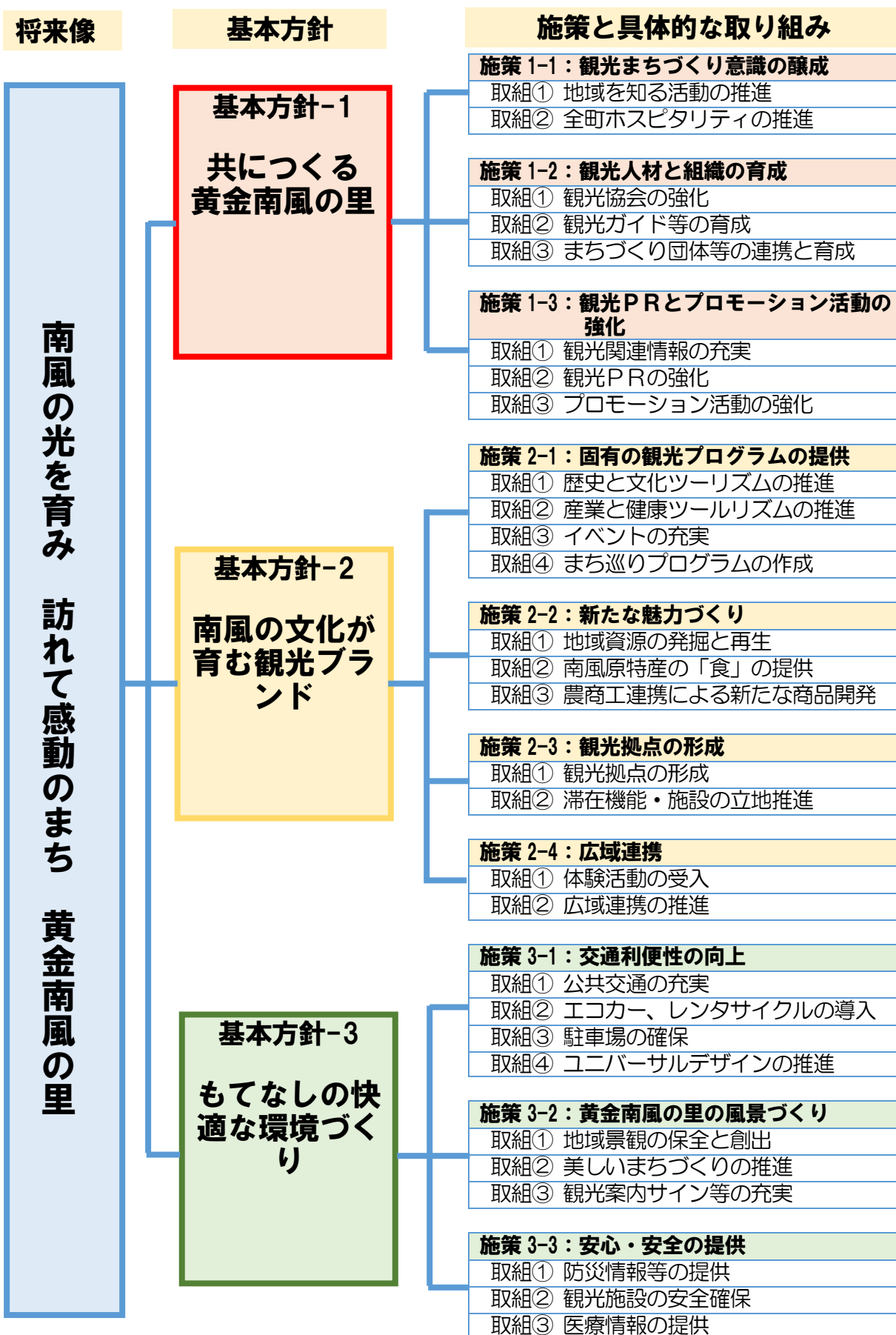
■ひまわり開花式



■かすりの道



4-4 施策の体系



第5章 施策の具体的な取り組み

基本方針-1 共につくる黄金南風の里

施策 1-1 観光まちづくり意識の醸成

取組① 地域を知る活動の推進

○住んでいる人々が自らの地域を知り、誇りを持って住んでいるという姿こそが、光り輝く魅力的な地域そのものです。そのため、町民自らが地域の歴史や文化、景観、食、特産品などを楽しみながら知ることにより、地域に対する誇りを高め、自発的な情報の発信や観光活動への参加へとつながるような取り組みを行います。

取組② 全町ホスピタリティの推進

○地域を知り、誇りを持っている町民が、訪れる人を心からもてなす姿勢で接することは、観光を振興する上で最も基本となることです。そのため、町民全員がもてなす心をもって観光客に対応できるよう、全町ホスピタリティを目指した取り組みを進めます。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①地域を知る活動の推進	地域学講座の開催	■	■■■■■	■■■■■	●	●		●
	学校と連携した地域体験学習の推進	■	■■■■■	■■■■■	●	●		●
	町民体験観光の開催	■	■■■■■	■■■■■	●	●		●
	地域学講座副読本等の作成		■■■■■	■■■■■	●	●		
②全町ホスピタリティの推進	ホスピタリティ講座の開催	■	■■■■■	■■■■■	●	●		●
	ホスピタリティハンドブックの作成		■■■■■	■■■■■	●	●		

■計画内容の見方

取組内容：施策を実施するための具体的な内容を示します。

展開事業：取り組み内容を実現するための取り組むべき具体的な事業内容を示します。

実施時期：短期は概ね3年、中期は4～6年、長期は7～10年です。

実線は事業の取り組み開始と実施を、破線は事業の継続を表しています。

実施主体：主に行政は町・県・国、観光団体は観光協会や商工会など、事業者は観光関連事業者、町民は町民個人や学校・まちづくり等の町民団体を対象としています。

施策 1-2 観光人材と組織の育成

取組① 観光協会の強化

○平成 25 年 4 月に設立された南風原町観光協会の事業推進に向け、会員数の増加、行政・観光関連団体・観光関連事業者との連携、協会独自の新たな事業展開等を図り、協会の自立強化を推進します。

取組② 観光ガイド等の育成

○沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号をはじめとする戦跡を案内する南風原平和ガイドの確保・増員を図るため、平和ガイドを育成します。

○歴史文化や地域に精通している方及び地域学講座を受けた方等の参加を得て、本町の魅力を案内できる南風原町観光ガイドを育成します。

○外国人観光客に対応するため、町内在住の外国人及び外国語を話せる方等の協力を得て、町内観光案内ができる外国人ツアーガイドを育成します。

取組③ まちづくり団体等の育成と連携

○本町の観光まちづくりに関係する諸団体へ呼びかけ、観光振興やまちづくりに関する連携と、今後の取り組みの担い手となる人材及び組織の育成を図ります。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①観光協会の強化	会員増加の取り組み	■	■■■■■	■■■■■	●	●	●	
	関係機関との連携事業の推進	■	■■■■■	■■■■■	●	●	●	
	自主事業展開の促進	■	■■■■■	■■■■■	●	●	●	
②観光ガイド等の育成	平和ガイドの育成・強化	■	■■■■■	■■■■■	●	●		●
	南風原町観光ガイドの育成	■	■■■■■	■■■■■	●	●		●
	外国人ツアーガイドの育成		■	■■■■■	●	●		●
③まちづくり団体等の連携と育成	連携の呼びかけと連携活動の展開	■	■■■■■	■■■■■	●	●	●	
	担い手の育成		■	■■■■■	●	●	●	

施策 1-3 観光PRとプロモーション活動の強化

取組① 観光関連情報の充実

○来訪者がさまざまな観光を楽しむためには、観光施設やイベント等に関する情報、季節ごとの観光情報など広範囲の情報を提供する必要があります。情報の収集及び一元化を図るとともに、町全体の観光施設及び周遊マップの作成、施設ごとのリーフレットの作成等を行い、これを観光案内所やバスターミナル、レンタカーステーションなどに設置し、町観光情報の周知を図ります。

○増加する外国人観光客に対応するため、主要来訪国別のガイドマップを作成します。

取組② 観光PRの強化

○観光情報誌、インターネット、テレビ・ラジオ、新聞、チラシなど、あらゆる情報媒体を活用し、観光情報やイベント情報等を発信します。その際、事前の動機づけ段階の情報や、現地での細かな情報の提供など、場面展開に応じた情報の提供ができるよう配慮します。

○観光客のみならず、旅行会社、航空会社、学校及び企業、郷土会などへも情報を発信します。

○特産のかぼちゃをイメージした南風原町キャラクター「はえるん」を活用し、あらゆる機会をとらえ南風原イメージの浸透を図ります。

取組③ プロモーション活動の強化

○観光の動機づけには、地域の魅力をいかに伝えるかが重要になってきます。そのためには、ターゲットを明確にし、それに合わせた有効な手段を駆使したプロモーションが必要です。南風原ならではの希少性のテーマ設定、キャッチコピーの作成、フィルムコミッションの活用、観光キャンペーン、物産展、メディアへの話題提供など、多様な手段によるプロモーション活動を展開します。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①観光関連情報の充実	観光施設・周遊マップの作成	■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
	各施設リーフレットの作成・設置	■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
	外国人向け観光案内の作成		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
②観光PRの強化	情報発信の継続・強化	■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
	ターゲット団体等への情報発信	■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
	キャラクターの積極な登用	■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●

沖縄唯一、海のない町。

沖縄県 南風原町

鮮やかな歴史と文化息づく
 美り豊かな黄金南風の平和郷

HABARU Profile

伝統

南風原町には各集落に誇りと受け継がれる伝統芸能が数多くあります。地域を寄与するために続いたはたらき（災害を助う）や、村役で親しまれてきた習りや伝言などの芸能など、さまざまな伝統が現在まで受け継がれています。

南風原町の年間行事

- 1月 ▶初盆式
- ▶新春マラソン大会
- 2月 ▶生涯学習・公民館まつり
- ▶地産物まつり
- ▶町民大会まつり
- 3月 ▶青少年スポーツ大会
- 4月 ▶こいのぼり授賞式
- ▶南風原こぼり大会
- ▶町民連合会総会
- ▶南風原マラソン大会
- ▶交流スポーツ大会
- ▶南風原スポーツ大会
- 5月 ▶交通安全教室
- ▶子ども会総学年スポーツ大会
- ▶少年の交通安全講話大会
- ▶南風原はなびなみー実行委員会
- ▶美ら島沖海祭
- 女子バスケットボール大会
- 6月 ▶和道体験大会
- ▶町小中学生海上競技大会
- ▶伝統祭り
- ▶町民総会
- 7月 ▶道の稲刈り体験
- ▶県民健康と観光大会
- ▶老人大会
- 8月 ▶お祭り市
- ▶はなびなみー実行委員会
- ▶町民総会
- 9月 ▶南風原地産物文化祭
- ▶ちやんせ町内一斉清掃

私ははえらん「南風原町」のゆるキャラ？

沖縄唯一海のない「はえらん」 沖縄県 南風原町

沖縄本島南部のほぼ中央に位置する南風原町は周囲を市町村に囲まれた景内で唯一、海に面していない町。静に囲まれた穏やかな町は古くから交通の要所として筑後、独自の歴史、文化を育んできました。

文化

数多くの史跡や文化財が誇る南風原町。琉球王朝時代の人の暮らしを見つめる、恵まれた沖帰地をくぐり抜けた貴重な文化遺産、未来の残したくない町の宝物。先人たちの思いを時代を越えて今に、伝えてくれます。

照壁の石獅子

照壁をはじめ、藩城や本館に4基残される石獅子。集落を巡りながらアーチゲージ（御旗道）や、シーゲージ（火道）のために作られました。災いから免れ延びてほしい集落を守るといわれています。

無形民俗文化財

獅子舞

南風原町には獅子舞、奉燈籠、奉燈籠の音楽隊などがある。獅子舞（獅子舞）として獅子舞が伝えられ、それと結びついた祭を見えます。

宇宮平の「隠掛け（かしかけ）」

戦後、二戦で壊されるようになった古民家の「隠掛け」。宇宮では三三三の昔ながらの蔵が残されています。

買方橋（メカガボウ）

神を祀り、災厄や悪霊を払うためのに奉られた買方橋。宮城、宗城、高城、高城、高城、高城に伝承されています。

南風原町キャラクター
 はえらん

町役：バナナビラ
 昔ながらの民家。木や石で造られ、お祭りや祭りのときに使われます。

町役：キョウワカン
 昔ながらの民家。木や石で造られ、お祭りや祭りのときに使われます。

南風原町は
 空道から
 車で25分！

南風原
 HABARU Town
 検索
<http://www.habarukankou.jp>

沖縄県南風原町南風原町本部158番地
 TEL 098-851-7273 FAX 098-851-7109
chikie-machibokuri@habarukankou.jp

基本方針-2 南風の文化が育む観光ブランド

施策 2-1 固有の観光プログラムの提供

取組① 歴史と文化ツーリズムの推進

- 戦跡及び平和学習の拠点となっている沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号や町立南風原文化センターを核として、南風原でしか体験できない平和に関する学習・体験プログラムを実施します。
- 伝統工芸の琉球かすり会館、世界初飛行の飛び安里、各地域に分布する多数の文化財や伝統行事があり、これらを活かした体験プログラムを実施します。

取組② 産業と健康ツーリズムの推進

- 琉球かすりの伝統産業、泡盛酒造などの産業資源を活用した生産工程の見学や体験プログラムを実施します。
- 農の特産品であるかぼちゃやはえばる美瓜（へちま）、スターフルーツをはじめ多くの食に関わる産品があり、これらの栽培や収穫、食などの体験プログラムを実施します。

取組③ イベントの充実

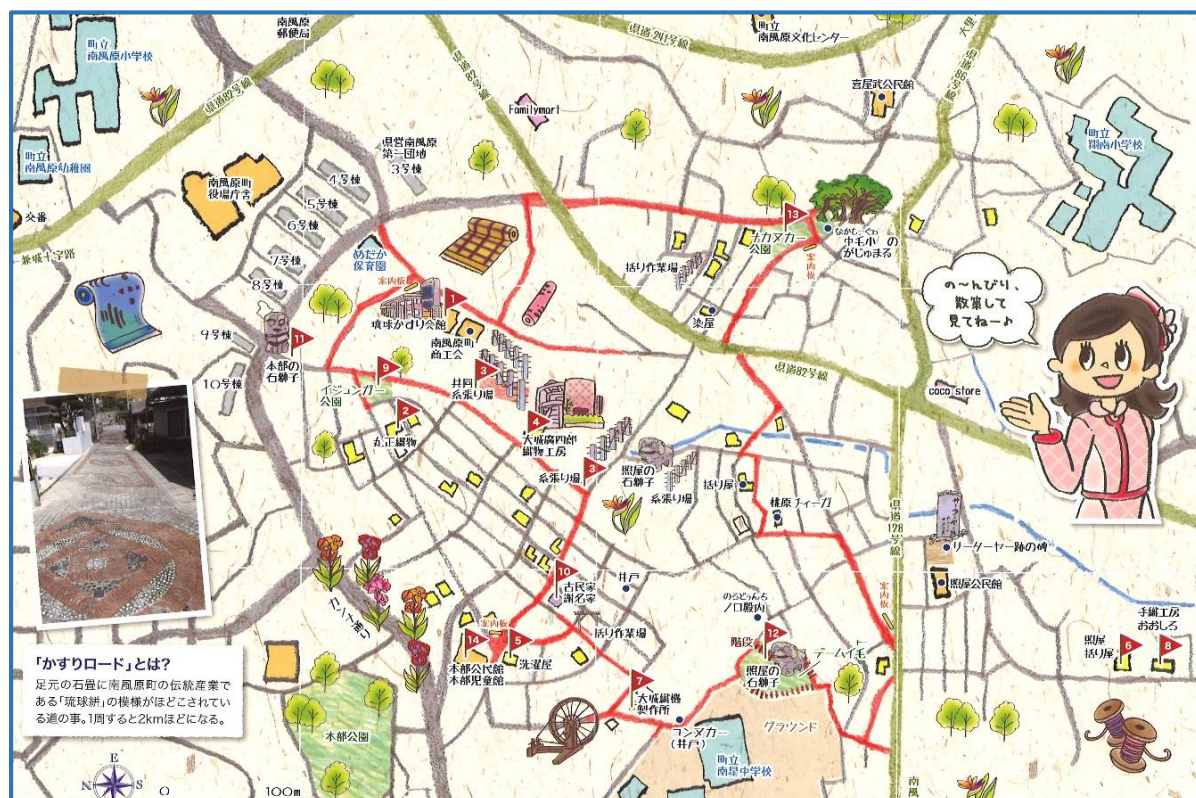
- 新春マラソン大会、かすり駅伝、はえばるふるさと博覧会などのイベント、また各地域には伝統行事としての綱曳きなどをはじめとする催事が多数あり、これらの充実と参加者の拡大を図るとともに、町内外へ情報発信による認知度を高めます。
- 世界初飛行の飛び安里やウルトラマンを創った男で知られる金城哲夫の生誕地でもあります。金城哲夫については平成 26 年 2 月に生誕 75 周年祭が実施されるなど注目を集めています。これらの偉人をテーマとした新たなイベントの企画・実施を進めます。

取組④ まち巡りプログラムの作成

- まち巡りの代表としてかすりの道（ロード）やカンナ通りあります。これらのロードの魅力アップや利便性等を考慮し、沿道の緑化による景観創出、資源の掘り起こし、休憩及びトイレ等のサービス施設等の整備を促進します。
- 地域には文化財や公園、花の沿道などが分布しており、これらの点と点を結ぶことによって新たなまち巡りロードが創出されます。例えば、飛び安里と本部公園を結ぶルートの開発など、地域の資源を活かし、また創出につながるよう、整備を目指します。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①歴史と文化ツーリズムの推進	戦跡・平和学習プログラムの推進	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
	歴史文化体験プログラムの推進	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
②産業と健康ツーリズムの推進	伝統産業体験プログラムの推進	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
	農と食の体験プログラムの推進	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
③イベントの充実	既存イベントの充実・拡大	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
	新たなイベントの企画・実施推進		■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
④まち巡りプログラムの作成	既存ロードの機能向上整備	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●		●
	新たなロードの企画・整備の推進		■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●		●

■まち巡りロードマップのイメージ例「かすりロード」



施策 2-2 新たな魅力づくり

取組① 地域資源の発掘と再生

- 本町の観光資源の主をなす歴史文化的資源について、価値の保全はもとより、観光資源としての活用を考慮した保全・整備を行います。沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号や地域に分布する史跡・建造物、御嶽及び地域の原風景、伝統行事・芸能等も含め保全・継承を図ります。
- まち巡りプログラムとも併せて、四季折々に花を楽しめる環境整備を進め、年間を通じて花を觀賞できるようにします。
- 物質的な資源のみ関わらず、風景や動植物、技術、人材などをも含めた広範な資源の発掘を行い、観光資源としての活用を図ります。資源の発掘及び再生には、広く町民の方々から情報提供を受け、町民参加による整備を目指します。

取組② 南風原特産の「食」の提供

- 本町は、県内はもとより全国的にも知られる農の特産品があります。代表的なものとしては、かぼちゃ、はえばる美瓜（へちま）、キュウリ、ゴーヤ、スターフルーツ、マンゴー、ストレッチアなどがあげられます。これらは、一般には入手しにくい状況にあるため、町民が知り、誇れる環境づくりに向けた販路の確保を目指します。
- 特産品を用いた「食」を開発するとともに、新たな食の観光を推進します。開発に際しては、町民の家庭や料理店、菓子店などが協力して、南風原ならではのメニュー開発を目指します。

取組③ 農商工連携による新たな商品開発

- 特産品である農作物をはじめ、琉球かすりの機織り技術、泡盛の酒造、菓子の製造等、素材生産から商品まであります。地元の素材や技術を活かし、関連業の連携・協力のもとに新たな南風原産の商品づくりを進めます。特に、農業分野にあっては六次産業化を推進します。
- 開発商品及び特産品の販路拡大のための物産展や展示、試食会等を実施します。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①地域資源の発掘と再生	地域資源の保全・継承		■		●	●		●
	花による環境整備事業	■	■■■■■■■■■■		●	●		●
	新たな観光資源の発掘と整備		■	■■■■	●	●		●
②南風原特産の「食」の提供	等特産物の入手販路の確保	■	■■■■■■■■■■		●	●	●	
	新たな「食」商品の開発	■	■■■■■■■■■■		●	●	●	●

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
③農商工連携による新たな書品開発	産業間連携による商品開発		■ ■ ■		●	●	●	
	開発商品等の販路拡大		■ ■ ■		●	●	●	

■はえばる美瓜（へちま）活用のレシピ

たっぷり食べるとコレ！
簡単に買えばいい！
冷やしソーメンにも合います！

おひたし



●材料（2人分）

- ナーベラー 2本
- 市販のめんつゆ 適宜
- お好みでさきみネギ 適宜

●作り方

- ナーベラーは皮をむき、1cm 幅程度に輪切りにする。
- 蒸籠に湯をわかし、①を1分程度湯通しする。
- ②を冷水にとり、水気をきる。
- ③にめんつゆをかけ、冷蔵庫で冷やしてできあがり。好みでネギを加えたりして下さい。

*めんつゆをかけず、冷やしソーメンや冷やしうどんと一緒に食べてもおいしいです。

あっさりしたメインディッシュ！
お肉は少しだけでも食べ飽きあり！

ホイル焼き



●材料（2人分）

- ナーベラー小きめ 2本
- 豚薄切り肉 2枚
- しその葉 6枚
- みそ・砂糖・ごま油 各大さじ1
- 塩・コショウ 少々

●作り方

- ナーベラーは皮をむき、縦半分に切って塩・コショウをふる。
- 豚肉にも塩・コショウをふっておく。
- ナーベラーにしその葉と豚肉をはさみ、アルミホイルに包んでグリルで約15～20分火が通るまで焼く。
- みそ・砂糖・ごま油を混ぜ合わせ、焼きあがった③にかけてできあがり。

もっと食べよう
ハチマ

ナーベラーレ・シ・ピ



ナーベラーの皮のむき方

下写真のように、なるべく包丁でこそよくにむくと、きれいな緑が剥けて、火が通ったときに形がくずれずベチャツとなりにくいです！



平成 23 年度うちなー島ヤサイ産地化推進事業
発行：沖縄県農林水産部南部農業改良センター
協力：沖縄県南部農林高等学校生活デザイン科

（出典：「平成 23 年度うちなー島ヤサイ産地化推進事業」リーフレット）

■新たな特産品・商品の開発

「はえばる」の
ハンバーガーに
なりました。



南風原3Bバーガー

障がい者を支援している 3 つの就労支援 日 型事業所で作っているハンバーガーやピクルス、豚肉を一つにまとめた南風原 3B バーガーを作りました。

かすけくらぶ
南風原町字南風原130
営業時間：毎週火・金 11:00～15:00
☎ 098-888-0204

はえばる名物
他にもいろいろ
ありますよー



めいめい堂の
はえばるロール



津嘉山ロール

南風原特産の濃厚なかぼちゃを使った自然の風味と色合いが優しいロールケーキは、上品な甘味の逸品。かぼちゃや野菜のスイーツが人気のお店です。

ケーキの店 Duo (デュオ)
南風原町津嘉山1507-3
営業時間：10:00～21:00 定休日：火曜日 駐車場：有
☎ 098-888-3078

「はえばる」の
ハンバーガーに
なりました。



モロちゃんたまご

諸見里エッグハウスの「モロちゃんたまご」はこだわりの飼料やEM菌を与えた鶏の美味しいたまごです。

有限会社 諸見里エッグハウス
南風原町字南風原715番地
営業時間：10:00～18:00（月～金）
10:00～15:00（土）
定休日：日・祝祭日 ☎ 098-889-1950

太陽の恵み
いっぱい美味しさ



かぼちゃ

南風原町は「かぼちゃの里」として知られています。品質の高い完熟「えびすかぼちゃ」は好評で90%が県外へ出荷され、南風原の地から全国のご家庭に運ばれています。

おいしいよー



はえばる豚

南風原町が進める「食品リサイクル」[おいしくて安心な食肉づくり]の方針に基づいて開発された新しい豚肉ブランド「はえばる豚」。味と品質の高さが評判です。

特定非営利活動法人 のぞみの星
南風原町字南風原264 ☎ 098-888-5102

「はえばる」の
ハンバーガーに
なりました。



はちや米、かめせん

昔から親しまれている、ほんのり甘い「はちや米」や塩味の「かめせん」など、いずれも、シンプルな味わいで飽きのこない定番菓子を作り続けています。

宝木製菓
南風原町字南風原651
☎ 098-889-1335

（出典：「はえばるマルシェ」リーフレット）

施策 2-3 観光拠点の形成

取組① 観光拠点の形成

- 本町の現在における観光拠点としては、沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号と町立南風原文化センターを核とした戦跡・平和学習ゾーンと、琉球かすり会館及びかすりの道を一体としたかすりの里ゾーンの 2 つがあげられます。このゾーンの機能整備や交通、駐車場、休憩・トイレ等のサービス施設等を整備し拠点機能の向上を図ります。
- 黄金森公園陸上競技場や黄金森公園野球場を核とした新たなスポーツ拠点ゾーンの形成を検討します。
- 本町は、沖縄本島の東西及び南北を結ぶ交通、並びに広域的観光ルートとしての要所に位置していることから、南風原南・北インターの周辺等に立ち寄る観光サービス機能を持った拠点形成を促進します。具体的には、休憩・買物・食事・レクリエーション等のサービスの提供を推進するとともに、雨天時対応等を踏まえた高速道路の高架下の活用についても検討します。
- 新川地域一帯には、県立南部医療センターをはじめとする医療機関の集積があります。これらを活かした医療ツーリズムとしての拠点形成の可能性を検討します。

取組② 滞在機能・施設の立地推進

- 本町には、宿泊施設であるホテルや旅館がありません。そのため、民泊を除きすべてが通過型の観光となっています。滞在型の観光を推進するために、短期的には体験型の民宿の推進や空室のマンション及びアパート等の利用方法検討し、利用を推進します。
- 長期的には、ホテルやペンションなどの滞在しやすい宿泊施設の誘致等を進めます。施設整備際には、「観光地形成促進地域」の特例措置の活用を図ります。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①観光拠点の形成	戦跡・平和学習拠点機能の整備	■	■	■	●	●		●
	かすりの里拠点ゾーンの機能整備	■	■	■	●	●		●
	陸上競技場のスポーツ拠点の検討		■	■	●	●	●	
	広域観光サービス拠点形成の推進		■	■	●	●	●	
	医療ツーリズム拠点形成の検討		■	■	●	●	●	
②滞在機能・施設の立地推進	代替施設の利用検討・推進	■	■	■	●	●	●	
	宿泊施設立地の誘致		■	■	●	●	●	

施策 2-4 広域連携

取組① 体験活動の受入

○沖縄本島南部の6市町村（南風原町、豊見城市、糸満市、南城市、与那原町、八重瀬町）、農協、漁協、教育委員会、商工会等で構成する沖縄南部広域観光協会が広域的な観光として取り組んでいる1次産業体験、自然体験、平和学習などのプログラムの受入を推進していきます。

取組② 広域連携の推進

○南部広域の5市4町6村で構成する南部広域市町村事務組合は、「まるごと！南部沖縄」のホームページを開設し、広域連携による観光情報を発信しています。広域連携による観光情報の共有と発信を今後も積極的に活用していきます。

○観光情報の共有化と合わせて、広域的な観光プログラム開発と共同実施を推進します。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①体験活動の受入	体験プログラムの受入継続	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
②広域連携の推進	広域観光情報の共有と発信の継続	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●		
	広域観光プログラム開発と実施	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	

■平和学習拠点の町立南風原文化センター



■スポーツ拠点の黄金森公園陸上競技場



基本方針-3 もてなしの快適環境づくり

施策 3-1 交通利便性の向上

取組① 公共交通の充実

- 本町は、沖縄の玄関口である那覇空港に近く、また県都の那覇市と隣接し、沖縄本島の東西南北を結ぶ要所の地であります。観光客の交通の利便性を高めるためには、那覇空港や那覇市などからのアクセス性の向上が重要であることから、路線バスのバス路線の新設・増便・時間短縮などを検討し、推進します。
- 南部地域の広域的なまちづくりと観光行動の広範な活発化を目指すためには、周遊性の公共交通が必要となります。そのため、長期的には周遊機能を高めるモノレールや鉄軌道等の導入を検討し、推進していきます。
- 町内の観光施設間の公共交通による移動は、既設の路線バスを利用するほかなく、路線等の状況から観光施設間を効率よく移動することは難しい状況です。そのため、周遊性の高いコミュニティバスの導入をまちづくりと観光活用を視野に入れた検討と導入促進を図ります。

取組② エコカー、レンタサイクルの導入

- 本県観光客の約6割が移動手段としてレンタカーを利用しているといわれています。近年の環境への配慮や燃料の高騰などからハイブリット車や電気自動車の普及が進んでいます。これらに対応するとともに、さらに促進するために電気自動車対応の充電設備の設置を進め、来訪者が安心して利用できる環境づくりを進めます。
- カーボンオフセットツアーなど温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みを推進します。
- 町内の観光施設間の移動を手軽な自転車で移動できるよう、レンタサイクルの導入・促進を図ります。主なレンタサイクルの基地として、大型商業施設や主要観光施設、コンビニエンスストアなどを検討します。

取組③ 駐車場の確保

- 観光シーズンや修学旅行等の団体受入に際しては駐車場の不足が懸念されます。観光施設の利用規模に応じた駐車場の確保・整備を図ります。臨時的な対応として、空地や近隣駐車場等の活用も検討します。

取組④ ユニバーサルデザインの推進

- 観光施設の利用には、来訪者をはじめ、町内利用者を含めて高齢者や身体に障がいを持つ人が増加しつつあります。移動しやすく、かつ安全で人にやさしい環境を提供するためには、従来のバリアフリーはもとより、すべての人にやさしいユニバーサルデザインの導入が必要です。観光施設や交通施設、休憩施設等の整備に際しては、このユニバーサルデザインの導入を推進していきます。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①公共交通の充実	路線バスの利便性向上			■ ■ ■ ■	●	●		
	広域公共交通機関の導入検討				●	●		
	コミュニティバスの導入検討	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			●	●		●
②エコカー、レンタサイクルの導入	充電設備の整備促進	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			●	●	●	
	カーボンオフセットツアーの推進	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			●	●	●	
	レンタサイクルの導入	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			●	●	●	
③駐車場の確保	駐車場の確保・整備の促進	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			●	●	●	
④ユニバーサルデザインの推進	ユニバーサルデザインの導入	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			●	●	●	

■かすりの道



■カンナ通り



■本部公園



■エコカー（EV自動車）



（出典：南風原町勢要覧）

施策 3-2 黄金南風の里の風景づくり

取組① 地域景観の保全と創出

- 本町の原風景は丘陵地に広がる田園風景です。この田園風景を町の基調とし、町全体が黄金南風の里を表現するようなイメージが創出されるようなまちづくりや環境整備を進めます。
- 公園や緑地等の整備に際しては、在来種を採用し、原風景の保全と生態系の維持に努めます。
- 構造物の整備に際しては、周辺景観と調和のとれ形状や色彩となるよう配慮します。

取組② 美しいまちづくりの推進

- 町中を花と緑あふれる魅力的で美しいまちづくりを推進します。
- 観光施設等へのアクセス道路においては、沿道やポケットパークなどを花と緑を植栽し、演出効果を高めます。
- 沿道や空地、山地などにごみの投棄がなく、美しく清潔感のある地域づくりを進めます。そのために、地域住民の自発的な美化活動を推進するとともに、来訪者にもポイ捨てをしないよう啓発を促します。

取組③ 観光案内サイン等の充実

- 来訪者が目的地にスムーズに行けるよう、分かりやすい誘導看板の設置を促進します。
- 観光名所において、名所の概要やいわれなどを分かりやすく説明する案内板の設置を促進します。
- 外国人の来訪者に配慮した観光案内サイン、説明板等には多言語化表示を推進します。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①地域景観の保全と創出	景観計画の策定	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●		
	景観配慮の事業の推進	■	■	■	●	●	●	●
②美しいまちづくりの推進	町中花と緑の運動展開	■	■	■	●	●	●	●
	環境美化活動の推進	■	■	■	●	●	●	●
③観光案内サイン等の充実	誘導看板の設置促進	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●		
③駐車場の確保	説明案内板の設置促進	■	■	■ ■ ■ ■ ■	●	●		
④ユニバーサルデザインの推進	多言語化サインの設置促進	■	■	■ ■ ■ ■ ■	●	●		

施策 3-3 安心・安全の提供

取組① 防災情報等の提供

- 災害時における来訪者の安全を確保するために、避難行動、避難所等に関する情報等を掲載したパンフレット等を作成、要所に設置するとともに、掲示などして啓発を促します。
- 外国人来訪者には、防災パンフレットを多言語で作成し、配布や要所への設置、掲示等により災害時対応の啓発を促します。
- 台風時等により、来訪者が交通マヒや宿泊困難などにおちいった時は、台風情報の提供、交通機関の運行状況に関する情報提供、宿泊や生活必需品の確保支援などを行い、来訪者の安心向上に努めます。

取組② 観光施設の安全確保

- 地震や暴風雨等の発生に備え、観光施設や公共施設等の耐震化及び防火、暴風雨対策等を講じ、来訪者の安全確保に努めます。
- 万一に備えた避難・誘導等の防災訓練を実施し、安全・安心確保に努めます。
- 来訪者の万一に備えて、観光施設のスタッフに対し、救急救命講習を受講するなどして救急対策を推進します。

取組③ 医療情報の提供

- 当町には、多数の医療機関が立地していることから、来訪者の万一に備え、安心を与えるための医療機関マップを作成するなどして、安心感の向上に努めます。

取組施策の内容	展開事業	実施時期・期間			実施主体			
		短期	中期	長期	行政	観光団体	事業者	町民
①防災情報等の提供	防災パンフレットの作成と設置	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
	多言語防災パンフレットの作成・設置	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
	災害時対策と支援の実施	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	●
②観光施設の安全確保	施設の防災対策の強化	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
	施設における防災訓練の実施	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
	スタッフの救急救命講習の実施	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	
③医療情報の提供	医療情報パンフレットの作成・設置	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	●	●	●	

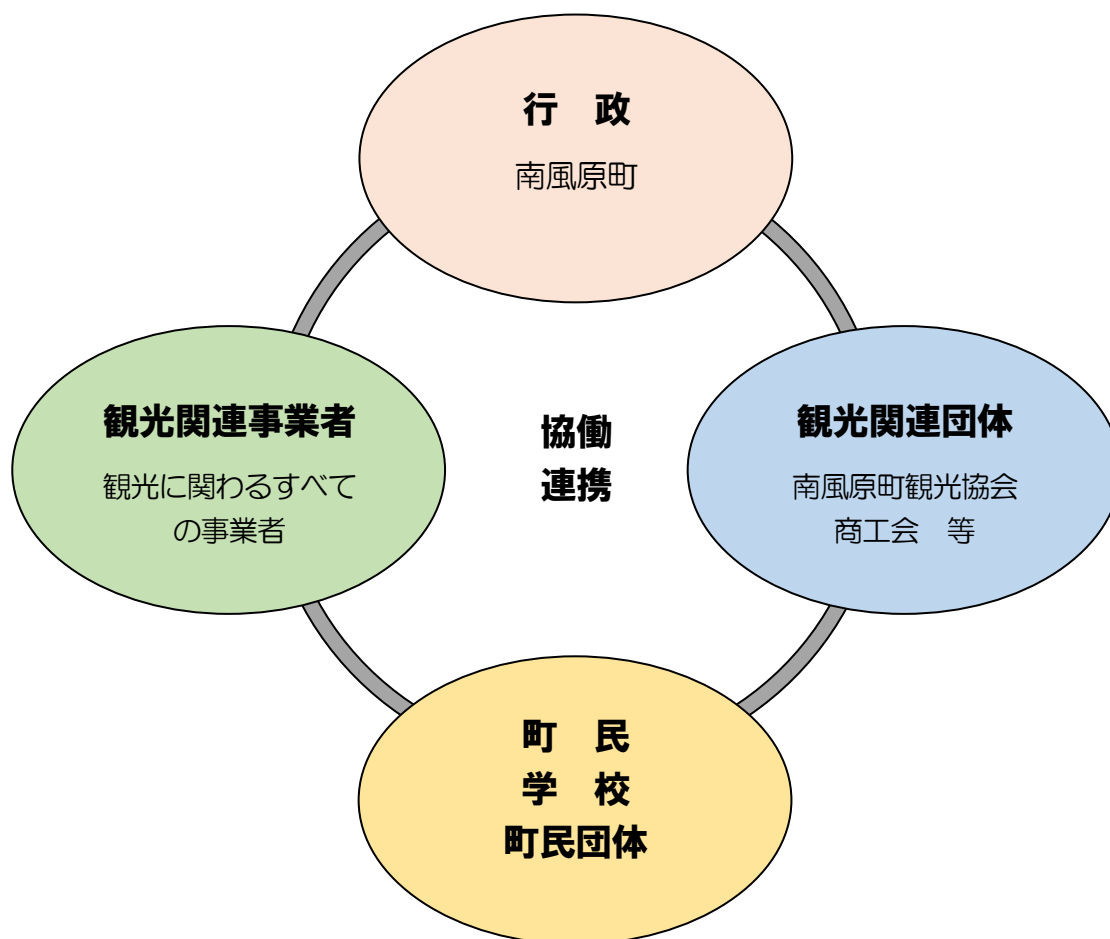
第6章 計画の推進

6-1 推進体制と役割

(1) 推進体制

本計画を推進し、観光まちづくりを進めるためには、行政、観光関連団体、観光関連事業者、町民等の参画や協働を得ながら、多岐にわたる取り組みを検討し、調整し、実施していくことが必要です。そのため、観光が目指す将来像の達成に向けた共通認識のもと、各主体が各々の役割を果たすとともに、相互が連携し、一体となって進んでいく体制を構築します。

推進体制のイメージ



（２）主体の役割

①行政の役割

- 町の関係部局との連携を図り、県・国をはじめ、関係市町村や観光関連団体、民間事業者及び町民等との調整や連携を図りつつ、総合的な施策の推進を図ります。
- さまざまな取り組みの実施主体に対する支援を行います。
- 本町の観光イメージを創出し、定着させるために、観光関連団体や関係市町村と連携し、広範なPR活動を展開します。
- 観光情報の収集や調査研究を進め、観光ニーズに的確に対応できるよう施策推進者に情報等を提供します。

②観光協会の役割

- 観光振興の主導的な組織として、町や観光関連団体、民間事業者との連携体制を築き、観光情報の収集・提供やPR活動を行います。
- 施策の推進に当たっての関係機関間の調整機能を果たします。
- 振興施策に係る事業展開の先導的役割を果たします。
- 観光振興の主導的な役割を果たすために、組織の強化を図ります。

③観光関連団体（業界団体等）の役割

- 関係機関と連携しつつ、組織の強化と主導的な事業展開を図ります。

④商工会の役割

- 商業部門を中心として、関係機関と連携しつつ主体的な事業展開を進めます。
- 飲食・物産開発・販売、イベントの実施や接遇、サービスの向上を図ります。

⑤観光関連事業者の役割

- 観光振興の主体的な担い手であることを認識し、行政及び町民との連携を図り、本町の観光の魅力を高める事業展開を行います。
- 誘客のためのPR活動の充実を図ります。
- 来訪者に心のこもったおもてなしをするための研修や啓発活動、人材の確保・育成、事業者間の連携強化を図ります。

⑥町民・学校・町民団体の役割

- 町民一人ひとりが地域の自然や歴史文化等に関する知識と誇りを持ち、訪れる人々をおもてなしの心で温かく迎え、多くの人々との交流を深めます。
- 観光はまちづくりであるという認識のもとに、地域活動に積極的に参加するなど、魅力あるまちづくりに寄与します。

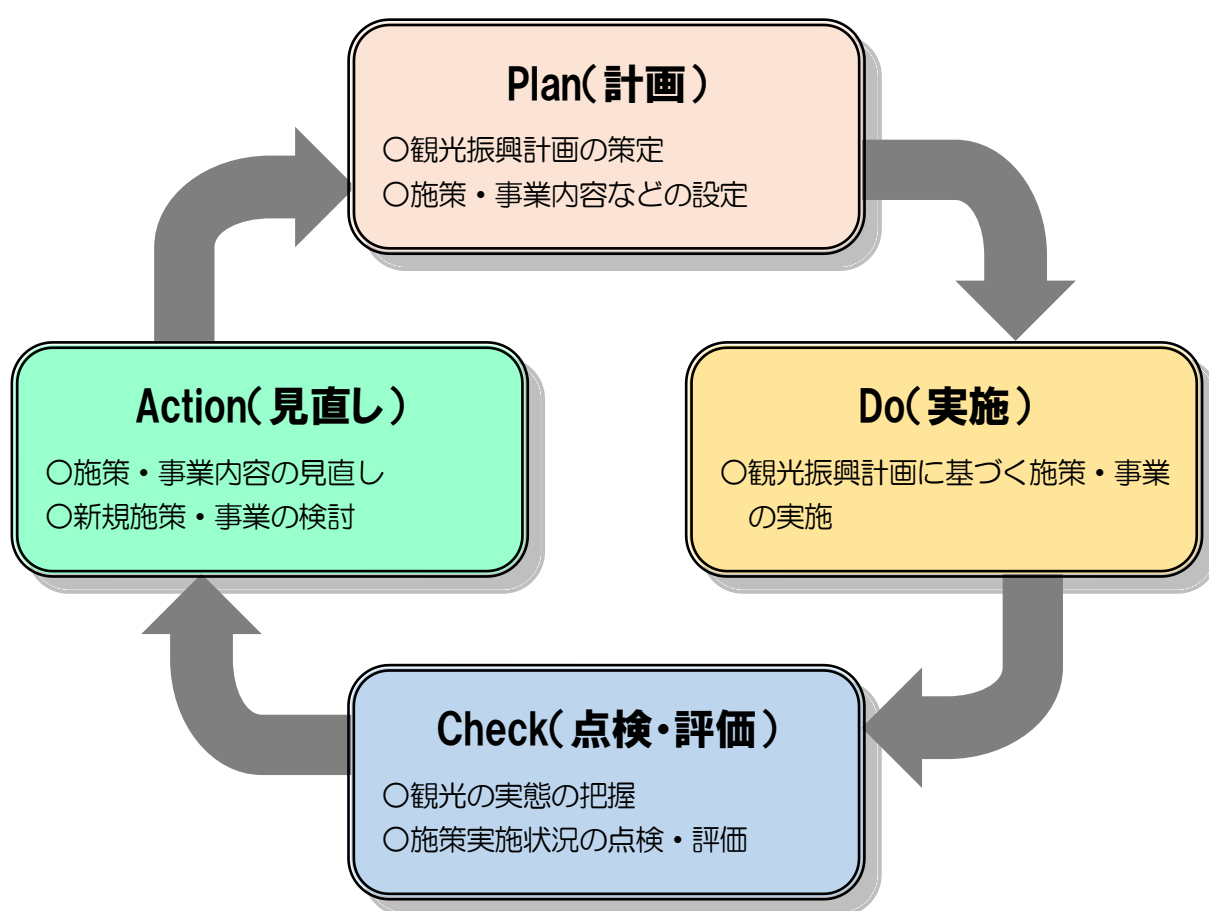
6-2 計画の進行管理

本計画の目標を達成するため、PDCA マネジメントサイクルの考えのもとで計画の進行管理を行います。

PDCAマネジメントサイクルとは、計画（Plan）⇒実行（Do）⇒点検・評価（Check）⇒改善・見直し（Action）という一連のプロセスを回し、プロジェクトをより効率的に、より効果的に進めようとするものです。

本計画にPDCAを採用することで、本計画の計画的かつ効果的な運用を目指します。

本計画で設定した取り組み着実に実施するために、毎年、取り組み内容の進捗状況を把握し、PDCAに従った運用を実施します。



資料編

1	南風原町の主な観光資源	49
2	観光振興に関する町民アンケート調査結果	64
3	南風原町観光振興計画策定経過	84
4	南風原町観光振興計画策定委員会	84
	■策定委員会設置条例	
	■委員名簿	
	■南風原町観光振興計画策定委員への諮問	
	■南風原町観光振興計画策定委員会からの答申	

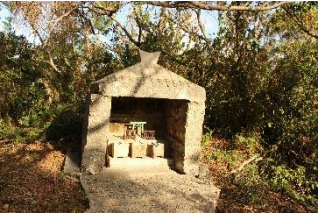
1 南風原町の主な観光資源

分類	資源名	資源の概要
道路・河川	南風原ダム 	南風原ダムではさまざまな野鳥を見ることができます。カイツブリとバンが生息しており、秋から冬にかけては、ゴイザキ、ササゴイ、アマザキ、ダイザキ、コサギ、アオザキなどの渡り鳥が見られ、これらの渡り鳥はダムの近くに生えている木の枝で羽を休めます。時にはダムの水面でオオバン、コガモ、スズガモが泳いでいる姿を観察できます。
	中毛小のガジュマル群 	近所に住む古老が「私たちが子供の頃も今と変わらぬ大きさだった。」と話す程、長寿で大きな5本のガジュマルがあり、町指定の天然記念物に指定されています。
動植物	ストレリチア 	ストレリチアは熱帯産の在来種で、独特な花の形や鮮やかな色彩から観賞用としての需要が高いものです。年間140万本を栽培し、その約95%を県外に出荷しています。
	はえばる美瓜 (ナーベラー:へちま) 	ミネラル、ビタミンを多く含んだ島のポピュラーな夏場野菜です。県内出荷の約30%が南風原町産で、食用へちま生産日本一です。沖縄料理として認知されはじめ、県外へも出荷しています。南風原町産のへちまを「はえばる美瓜」と名づけ、親しみやすい野菜として売り出しています。
	かぼちゃ 	南風原のかぼちゃは、甘みがあってホクホクとしており、県外からのニーズの高い特産品です。煮物にするより天ぷらが一番美味しくいただけ、一般的な食べ方です。
建造物	摩文仁家の墓 	尚質王の次男・摩文仁家の始祖、尚弘毅（大里朝亮 1647年～1686年）の墓。11年間摂政を務めた功績により国王から贈られた拝領墓、築造年代は不明。1970年7月14日、町内唯一の県指定有形文化財（建造物）に指定されました。

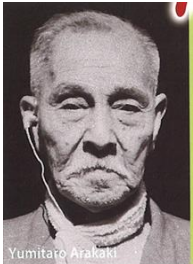
分類	資源名	資源の概要
文化遺産	琉球かすり会館 	琉球かすりの製造工程を見学、製品の販売も行っています。絣織りも体験できる施設です。
	照屋の石獅子A 	シーサーは、ムラの入口にフーチゲシ（邪気返し）の目的で設置されています。となりの字本部が火の山と恐れられていた八重瀬岳へ向けてシーサーを設置し、それが結果的に照屋に向く形になり、照屋集落は対抗して本部に向けて置いたといわれています。町指定の有形民俗文化財です。
	照屋の石獅子B 	シーサーはデームイ毛の北西側にありましたが、学校の建設のため現在地に移されました。東のシーサー（照屋の石獅子A）より小ぶりで穏やかな顔をしています。町指定の有形民俗文化財です。
	「飛び安里」初飛翔顕彰記念碑 	首里から津嘉山に移り住んだ安里周富（通称「飛び安里」）は、1780年頃仕立森（したてむい）（現津嘉山小学校）や高津嘉山から、大空を飛ぶことに挑戦し続けたといわれています。その勇気と初飛翔を顕彰し、1991年に記念碑が建立されました。安里の「A」と、安里が製作した飛行機がモチーフになっています。
	本部の石獅子 	村の守り神として立っています。かつては2匹いて、シー（精）高く火の玉を持つと思われていた東風平八重瀬岳を向けて、「邪気返し、火事よけ」として建てられました。町有指定の有形民俗文化財です。
	兼城の石獅子 	兼城ムラの守護神であり、火災や疫病からムラ人を守ると信仰されていました。（上間ムラに向けられている）

分類	資源名	資源の概要
文化遺産	沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号 	壕群 20 号は黄金森に、数多く掘られた病院壕の中で当時の状態を残している唯一の壕です。現在は平和学習の場として、利用されています。
	悲風の丘 	黄金森は沖縄戦当時、壕が数多く掘られ、沖縄陸軍病院として使用された丘です。ここでたくさんの負傷兵が命を落としました。その慰霊塔がひっそりと建っています。この碑は 1966 年佐藤栄作元首相によって建立されたものです。
	大名ヒージャーカー・石碑 	東方から首里に上がる時、長い坂道に差し掛かる所にあり、通行人が渴きを癒し休憩する泉となっていました。しかし、雨が降ると街道に水が溢れ歩行に困難をきたしました。そこで、1769 年、知念筑登之らが呼びかけ、井戸を掘り石が積みました。1990 年に町指定の文化財に指定された。
	印部土手石 	印部土手石は、首里王府の時代から明治にかけて、田畑を測量する基準点として設定され、各間切に約 300 個あったといわれています。現在、沖縄では 100 個余り発見されており、南風原町からは 4 個発見されています。
	御宿井（ウスクガー） 	「天女降臨伝説」で知られるウスクガー。そこに下りた天女をめったと伝承される旧家デーコク跡には、火神と神棚があります。また、デーコクシー（大国子）ゆかりのカマド跡はウミチムンと呼ばれ、拝所になっています。
	字平橋碑 	1690 年それまで木製だった橋を石橋に架け替えたことを記念して琉球王府が建てた石碑です。山川に立っている碑はレプリカで、現在実物（町指定文化財）は南風原文化センターに展示されています。

分類	資源名	資源の概要
文化遺産	間切番所跡のフクギ群 	1611 年頃、尚王寧が各間切りに番所を設置し、南風原間切番所もその時に設置された。現在、番所跡には道路に沿って 7 本のフクギの老木が残っており、町内では珍しい。このフクギ群は樹高が約 9m 前後あり、胸高直径は 71cm が最大です。
	浦島太郎伝説 ウサン御嶽 	ウサン嶽は、現在小高い山は削られ、住宅地の中の広場の片隅に祠が残っていますが、そこは浦島太郎伝説によく似た話があります。むかし与那覇に住む稲作根子という男が現在の与那原の海岸で、一握りのもじ（入れ髪）を拾いました。それが縁で、持ち主の美しい女性に誘われ竜宮城へいきました。そこで幾月もの間、厚いもてましを受け楽しく過ごしましたが、いよいよふるさとへ帰ってみると、そこに知る人はいませんでした。長い年月が経っていたのです。稲作根子は孤独で一人さみしく死んでしまったといわれる伝説です。
	大名の守り神 御神屋 	1927 年（昭和 2 年）、摩文仁家から土地を購入。その後、茅葺長屋を建設しましたが、戦災で焼失しました。現在の公民館 5 代目です。屋取集落である大名では、村の共同体としての宗教はありませんでした。1927 年、弁ヶ岳の神をまねき、ウカミヤを建て、ムラの守護神としてグフンシジを祀りました。沖縄戦で破壊されましたが、1992 年（平成 4 年）、現行民間の裏に復元されました。
	南風原町間切宮平村・手習書之跡 	南風原における学校教育は、1868 年（明治元年）に仲村渠筑親雲上が宮平村に手習所を開設したのが始まりと伝えられています。この記念碑は 1978 年、宮平公民館の庭に建立されました。
	公方の御嶽 	地域の中では最も古い御嶽で、津嘉山に初めて人が住んだところとも言い伝えられます。周辺からはグスク時代の遺物や人骨が発見されています。
	イーチの御嶽 	津嘉山の古ジマの一つ、仲間村にゆかりのある御嶽です。戦前には御嶽の改修を受けました。近年の発掘調査で生活用品や動物の骨などが出土し、仲間村の存在が裏付けられました。

分類	資源名	資源の概要
文化遺産	イーチキの御嶽 	津嘉山の古ジマの一つ、玉那覇村にゆかりのある御嶽です。戦前に御嶽の改修を受けた御嶽でもあり、拝みの対象・皇民化政策の行われた世相を語る遺物と、様々な面を持つ御嶽です。
	第 62 師団野戦病院壕跡（ナゲーラ壕） 	通称ナゲーラ壕といわれているが、地元ではシチャーラの壕と呼ばれている。沖縄戦の第一線で米軍と戦火を交えた日本陸軍第62師団(石部隊)の野戦病院壕跡。首里高等女学校生と昭和高等女学校生が日本軍に動員されましたが、今では訪れる人も少ない重要戦跡の一つです。
	兼城の慰霊塔 	この慰霊塔は、大東亜戦争戦没者の慰霊塔で、内嶺グスク跡内にあります。
	弾痕（津嘉山の塀） 	沖縄戦の時に撃ち込まれた無数の弾痕が、今もそのまま残っている大変貴重な塀です。
	弾痕（山川の塀） 	日々の暮らしの中に戦争が持ち込まれた沖縄戦は山川にも深い爪跡を残しています。青年たちの集う水タンクに米軍のロケット砲が命中、2名即死、2名重症の惨事が起きました。現在は町立南風原文化センター内に展示されています。
	慰霊祈和の塔 	南風原町は沖縄県で唯一、周りに海がない自治体で、沖縄戦中、首里の第32軍司令部へ物資を補給する後方基地と位置付けられ、黄金森を始め村の丘という丘に壕が構築され、「要塞の村」となりました。軍と住民が共に行動したため、住民への被害が拡大し、全町民の約43%が犠牲になっています。礎には犠牲となった南風原町民を字ごとに刻印しています。

分類	資源名	資源の概要
文化遺産	新川エイサー 	地域の青年会が勇壮な演舞で魅せるエイサー。旧盆の道ジエナーや新川エイサー祭りなど、さまざまなイベントで地域住民に披露しています。
	兼城の揚作田 	二人組の代表的な二才（ニーセー）踊で、「御冠船踊」として八月十五夜の村あそびにおいて伝承されてきた、動きが力強く大らかな踊りです。
	宮平の総掛（かしかけ） 	宮平の総掛は「干瀬節」「七尺節」「サアサア節」の三曲になっており、古典女踊りの伝統的な型を受け継いでいます。
	宮平の獅子舞 	大きな祝いがある時は、獅子をノロ家からムラヤーに運び、道ジエナーを行います。獅子舞には7つの手があり、カクジシリーなど難しい技もあり、町指定無形文化財です。
	舞方棒 	舞方棒は、舞台や祭事などの場における清めの開幕舞踊で、力強い棒の舞によって疫病・災害・悪霊を払う意味を持ちます。各字で違いがあります。
	喜屋武の十五夜遊び 	旧暦の8月15日に行われる、喜屋武の伝統芸能を披露する「十五夜遊び」が喜屋武集落センター（喜屋武公民館）で行われます。主な演目としては南風原町で唯一現存する「長者の大主」という組踊、「舞方棒」、「獅子舞」などがあり、町指定の無形民俗文化財となっています。

分類	資源名	資源の概要
文化遺産	喜屋武の長者の大主 	八月十五夜の祭りなどで演じられる祝賀の芸能で、福祿寿の三得を兼ねた長者が五穀豊穡と村の繁栄を祈願し、子孫たちの芸能を披露して神をもてなすものです。
	神里の獅子舞 	神里の獅子舞の特徴は、面が赤色で牙があり、額に三日月が描いてあることです。獅子舞には雄雌があり、月のマークがある神里の獅子舞は雌で、県内の獅子舞の中でもふたつしかないといわれています。口をよく開き、それを強調するような動きが特徴で、後ろ向きに退場します。十五夜には集落内にあるムートゥヤー（門中）を練り歩いて厄払いをします。
	神里エイサー 	1985年に玉城村奥武に指導を受けて始めました。現在は旧盆のウークイと旧正月に4カ所で道ジェナー（村廻り）をして、盆踊りの際にナカミチで踊っています。旗頭を先頭に大太鼓、パーランクー、滑稽踊、女踊りで構成されています。
偉人	新垣 弓太郎 	「中国革命の闘士」 東京や中国・上海で自由権運動の活動家として活躍しました。日本に亡命中の中国の革命家で知られる孫文を助け、辛亥革命の司令官となりました。孫文は、新垣の功績を称え「熱血可嘉」との扁額を送っています。
	金城 山戸 	「第1回ブラジル移民、初の歯科医師」 明治41年に第1回ブラジル移民として海を渡りました。日本人移民の中から初の歯科医師となり、日系人社会のみならず、現地の住民らの歯科医療に貢献した人です。
	金城 哲夫 	「ウルトラマンを創った男」 特撮で知られる円谷プロダクションでウルトラマンシリーズの企画立案、メインライターとして脚本を手がけました。それ以前は映画の製作や、沖縄帰郷後は沖縄国際海洋博覧会の演出を手掛けました。

分類	資源名	資源の概要
偉人	儀保 蒲太 	「第1回ブラジル移民、イッパチ」 第1回ブラジル移民となり、移民船・笠戸丸の中でニックネームでイッパチと呼ばれるようになりました。後に天才的な賭博師として活躍し、稼いだ金を生活に困って人へ与えるなど、篤志家として知られるようになりました。
	飛び安里 	「世界の鳥人」 18世紀後半、鳥のように大空を羽ばたいた人です。現在の津嘉山小学校から津嘉山公民館までの150～200m近く飛んだとされています。世界初で知られるライト兄弟よりも100年以上も前の快拳と語り継がれています。
	金城 亀 	「沖縄からのハワイ移民第1号」 明治32年に横浜からチャイナ号でハワイに向かいました。沖縄からのハワイ移民の第一号となった人です。
学習施設	沖縄県立公文書館 	公文書館は、琉球王国時代から戦前の文書、米国占領下の文書、日本復帰前の琉球政府文書、米国民政府（USCAR）文書、沖縄県から引き継がれた公文書等を所蔵しています。
	南風原町立図書館 	南風原町中央公民館の横に図書館があります。
	伝統工芸指導所 	工芸振興センターは、研究開発、人材育成、技術支援、情報提供・連携の4つの機能を柱として、工芸産業に関する「総合的な技術支援機関」として工芸産地等の支援を行っています。

分類	資源名	資源の概要
公園・緑地等	黄金森公園 	史跡あふれる黄金森公園。遊具などはなく、陸上競技場及び野球場と史跡のみですが、丘の上の眺めは素晴らしく週末になると陸上競技場及び野球場で野球をする子どもたちやウォーキングをする人たちであふれています。
	本部公園 	「展望台から南風原町を一望できる、気持ちよい風が吹きぬける人気スポット」遊具、多目的広場、ゲートボール場と、施設は充実。高台にある公園の、ひときわ高いところにある展望台からの眺めは最高です。
	宮城公園 	遊歩道、テニスコート、野球場、ストレッチや筋トレの健康器具、遊具などがあります。垂直に近い迫力のある滑り台は大人気で、休日には賑やかな歓声が聞こえます。展望台から宮城全体が見渡せ、那覇空港自動車道のアーチ橋ものぞめます。
	神里ふれあい公園 	入口で迎えるウルトラマンのモニュメントがとってもユニーク。広いグラウンドをぐるっと一周する遊歩道は、足に負担がかからない工夫がされており、ウォーキングにも最適な公園です。
	南風原町役場町民広場 	南風原町中央公民館跡地に整備し、町民広場として、放課後の子どもたちの遊び場になっています。平成25年10月にははえるんフェスティバルも開催され、イベント等でも活用しています。
	環境の杜ふれあい 	「地域コミュニティ」、「健康」、「環境との共生」を考えた多機能の複合施設です。

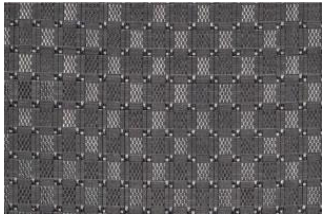
分類	資源名	資源の概要
公園・緑地等	新川公園 	園内はトイレも完備、野球やグランドゴルフ等が出来る広場、鉄棒、アスレチック、滑り台、ブランコ、健康足踏み石があり子供から大人まで楽しめます。
	花・水・緑の大回廊公園 	花・水・緑の大回廊公園は、回廊ごとにテニスコート、バスケット場、スケートボード場などスポーツのできる設備が設置されており、レクリエーションや住民の憩いの場として活用されています。
集会施設	南風原町立中央公民館 	南風原町立中央公民館には、ホール・図書館・研修室などがあり公民館講座やサークル活動と発表、各自治会の活動の発表の場として利用されています。
商業施設	イオンタウンマックスバリュ日橋店 	大型ショッピングモールです。
	イオン南風原ショッピングセンター 	大型ショッピングモールです。
	サンエーつかざんシティ 	大型ショッピングセンターです

分類	資源名	資源の概要
商業施設	うちなーゆ 	サウナとスパをしているリラクゼーションスポットのお風呂屋さんです。
	岩盤癒サザンヒル店 	スポーツワールドサザンヒル内にある岩盤浴施設です。
文化・スポーツ施設	スポーツワールド サザンヒル 	沖縄唯一のアイススケートリンクがあり、1年中アイススケートを楽しむ事が出来る全国的にも数少ない施設の一つです。その他にも、ボウリングやバッティングセンター、岩盤浴、カラオケなどがあります。
	黄金森公園陸上競技場 	黄金森公園内にある陸上競技場です。利用には事前の申し込みが必要です。
	黄金森公園野球場 	黄金森公園内にある野球場です。陸上競技場に隣接してあります。利用には事前の申し込みが必要です。
	ラウンドワン沖縄・南風原店 	アミューズメントパーク

分類	資源名	資源の概要
文化・スポーツ施設	サザンプレックス 	宮城にある映画館です。スターシアターズの一つで、ポイントカードやモバイルサイトもあります。
	南風原町立南風原文化センター 	南風原・沖縄に関する歴史資料や沖縄戦に関する展示そして移民やむかしの暮らし等の展示を行っています。
その他の施設	はえばるエコセンター 	環境保全の普及・啓発に向け発信の拠点とすることを目的とした施設です。
	南風原町総合保健福祉防災センター 	町民の「保健と健康増進・福祉・防災」の活動拠点としてオープン。「ちむぐくる館」の愛称で親しまれています。館内には、南風原町保健福祉課と社会福祉協議会があり、町民からのさまざまな相談に対応しています。また、健康器具が用意された健康増進室は、町民が無料で利用でき、健康維持管理に役立っています。また、災害時には避難場所として機能する南風原町の防災の拠点でもあります。
	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 	新川に位置し、大人とこどものための総合医療センターとして2006年4月、基幹病院として開設されました。診療の特徴として、胎児期から成人までを対象とし、あらゆる疾患に対応することが可能な高度で多機能な病院です。我が国の少子高齢化社会において、こどもから大人までを継続して医療サービスを受けることができるユニークな病院として注目を集めています。
街路・町並み	カンナ通り 	南風原町本部、県営団地前から本部公園前までの約1.8キロの道のりを、黄色やピンクのカンナの花が鮮やかに彩ります。手入れするのは同町本部の住民でつくる「カンナの会」です。

分類	資源名	資源の概要
街路・町並み	かすりの道 	1989年に整備された字本部と隣接する字照屋、字喜屋武にまたがる工芸の道。瓦やレンガをはめ込んだ舗装で、道の両側に立ち並ぶ緋工房から機音がのどかに響いてきます。
	21連アーチ橋 	沖縄自動車道、西原JCを抜け南風原北JCへ向かう走る車内から外へ目を向けると絶景が眺望できる全長4.6kmの「南風原高架橋」には、土台を成す橋台部分に「上り20連」、「下り21連」の美しいアーチがあり、アーチ型の橋としては世界一の長さを誇る。
行祭事	与那覇大綱曳き 	旧暦6月26日、豊年に感謝して行われる与那覇の大綱曳き「アミシの綱」。門中ごとに東西に分かれ、綱は2回曳かれます。旗頭のガーイーが始まると、子どもや女性たちもパーランクーを打ち鳴らし、祭りを盛り上げます。
	照屋の綱曳き 	平成22年、20数年ぶりに復活した照屋の綱曳き。照屋公民館前のミーミチで行われ、旧6月25日に2回、26日に1回綱を曳きます。行われる綱は、子どもからお年寄りまで、住民総出で綱作りをします。
	津嘉山の綱曳き 	津嘉山の綱曳きは、南山王が、当時最も田の多かった津嘉山に伝えられているといわれています。毎年旧暦6月26日に行われ、稲作が盛んな所は7年ごとに大綱曳きを行っていました。東西のムートゥヤー（元家）から会場に向かう際、旗頭や鉦鼓隊、女踊りなどを中心としたスネーイ（行列）、六尺棒で支えるシタク（支度）を行います。
	宮城の綱曳き 	旧暦6月15日のウマチー綱、旧暦6月26日のウフジナ（大綱）は、平成22年度には「沖縄ふるさと百選」に選ばれた歴史ある行事です。公民館前の中道を境に東西に分かれ、アガリ（東）が雄綱、イリ（西）が雌綱。勝負は2回行われ、イリが勝つとユガフー（世果報）に、アガリが勝つと豊作になるといわれ、年占いの意味も込められています。

分類	資源名	資源の概要
行事 祭事	兼城の綱曳 	兼城では昔から旧暦六月二十五日と翌日の二十六日に字を上げて綱曳が行われます。二十五日の「カシチー綱」は割合あっさりしており、二十六日の「御願綱」が華やかです。綱曳は字を東西に分けて19時半頃から始まるが、東西それぞれの綱が置かれている場所にはすでに囃子があり、氣勢をあげています。
	喜屋武の綱引き 	旧暦の6月25日と26日の夜に、南風原町喜屋武で綱引きが行われます。喜屋武の綱引きは激しいことで有名で、喧嘩綱引きとも呼ばれています。
	新春マラソン大会 	一年の出発点である新春を迎えるにあたり、老若男女が一同に集いお互いの健康を祈願し、走る喜びと忍耐力を養い、体力づくりと仲間づくりを目的に開催しています。
	かすり駅伝 	地域における青少年のスポーツ活動の一環として、かすり駅伝大会を開催し、町内の自動が地域での交流と親睦を図ります。「かすりの里南風原」を内外にアピールするため、絆の日（11月3日）に実施しています。
	はえばるふるさと博覧会 	2年に一度開催されるイベントで、南風原の工芸品や伝統芸能が集まります。「琉球かすりファッションデザインコンテスト・ファッションショー」は、琉球かすりの職人やデザイナーが自信の作品を出展し、プロのモデルによるファッションショーなど、県外からも注目されています。
産業	琉球かすり 	琉球かすりとは、沖縄で作られる絣織物の総称ですが、最近では南風原町を中心に織られるかすりの事をさすようになりました。幾何学模様が特徴で、琉球から日本へ伝わり、薩摩かすりや久留米かすりなどに影響を与えたとして「日本のかすりの源流」とも言われています。

分類	資源名	資源の概要
産業	南風原花織 	南風原花織には、ヤシラミ花織、クワアंकワアン織り、タッチリーなど、産地にしか存在しない名称がありその模様は花のように美しく図柄に立体感がでて華やかな印象を受けます。
	瑞泉酒造 南風原工場 	泡盛で知られる「瑞泉酒造株式会社」。そのお酒は南風原育ちなのです。瑞泉酒造株式会社は 1887 年に創業して以来、現在もお伝統の味を守り続けています。
	大城織機製作所 	戦前は県内各地にあった機屋さんも、今ではここだけしかありません。戦後、織機制作を復興させたお父さんの技を継いだ二代目が、県内はもちろん、県外からの注文にも、ひとつひとつ手づくりで応えているそうです。
	泡盛「南風原」 	泡盛の老舗、瑞泉酒造で作られるオリジナル泡盛。南風原町民の投票によって選ばれた、琉球泡盛「南風原」です。

2 観光振興に関する町民アンケート調査結果

(1) 調査の目的

南風原町の観光資源・素材を活用し、南風原町らしい観光振興目指した計画を策定するために、町民の皆さんから観光の方向性や具体的な提案等に関する意向を聞くためのアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象及び標本設計、調査方法

アンケート調査の対象と必要標本数、配布票数、配布・回収方法、回収率等の設定は次のとおりとする。なお、必要標本数については、統計的な手法により算定しました。

	市民
①調査地域	南風原町
②調査対象	南風原在住の20歳代～70歳代の町民
③配布票数	1,500票
④抽出方法	無作為抽出
⑤調査方法	郵送配布・回収
⑥調査期間	平成26年2月7日～2月17日
⑦回収数及び回収率	388票 25.9%

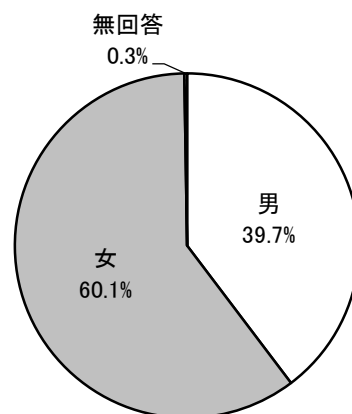
(3) 調査結果

問1 あなたの性別を教えてください。(該当する番号1つに○)

1. 男	2. 女
------	------

性別は、「女」が60.1%と半数以上を占め、「男」が39.7%、「無回答」が0.3%となっています。

回答項目	度数	割合
1 男	154	39.7%
2 女	233	60.1%
3 無回答	1	0.3%
全体	388	100.0%



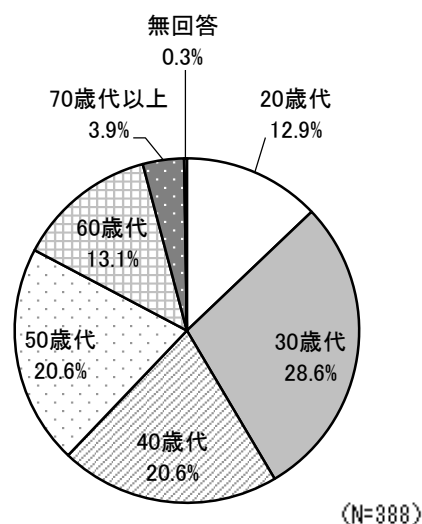
(N=388)

問2 あなたの年齢（年代）を教えてください。（該当する番号1つに○）

1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代
5. 60代	6. 70代以上		

最も多い年齢層は、「30歳代」で28.6%、次いで「40歳代」、「50歳代」が共に20.6%などとなっています。

回答項目	度数	割合
1 20歳代	50	12.9%
2 30歳代	111	28.6%
3 40歳代	80	20.6%
4 50歳代	80	20.6%
5 60歳代	51	13.1%
6 70歳代以上	15	3.9%
7 無回答	1	0.3%
全体	388	100.0%

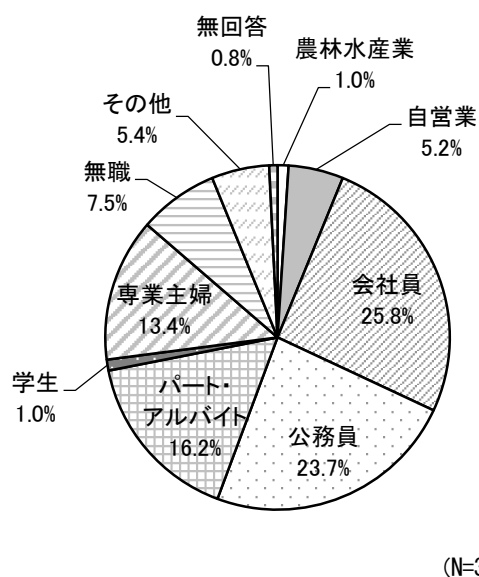


問3 あなたの職業を教えてください。（該当する番号1つに○）

1. 農林水産業	2. 自営業	3. 会社員	4. 公務員
5. パート・アルバイト	6. 学生	7. 専業主婦	8. 無職
9. その他（			）

職業は、「会社員」が25.8%と最も多く、次いで「公務員」が23.7%、「パート・アルバイト」が16.2%などとなっています。

回答項目	度数	割合
1 農林水産業	4	1.0%
2 自営業	20	5.2%
3 会社員	100	25.8%
4 公務員	92	23.7%
5 パート・アルバイト	63	16.2%
6 学生	4	1.0%
7 専業主婦	52	13.4%
8 無職	29	7.5%
9 その他	21	5.4%
10 無回答	3	0.8%
全体	388	100.0%

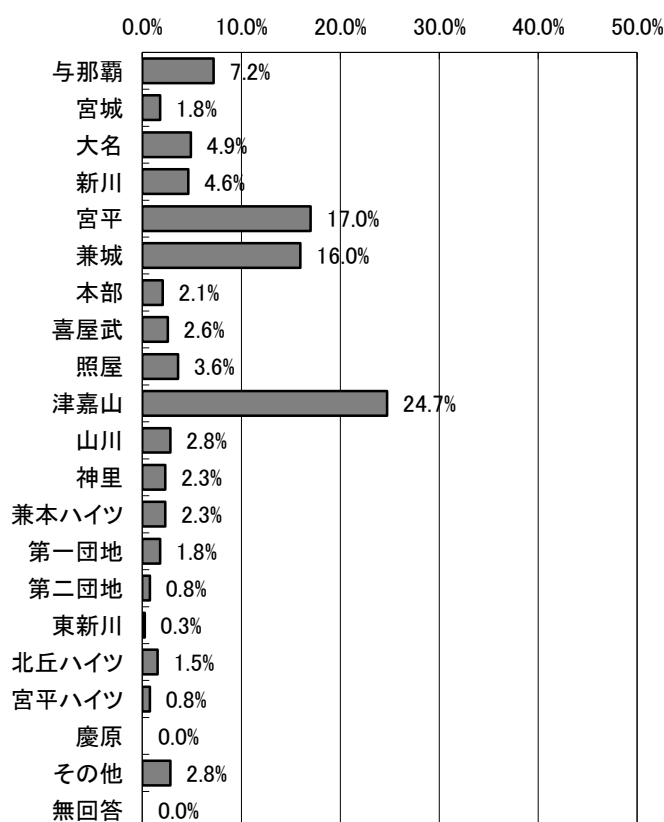


問4 あなたの居住地区（自治体）を教えてください。（該当する番号1つに○）

1. 与那覇	2. 宮城	3. 大名	4. 新川
5. 宮平	6. 兼城	7. 本部	8. 喜屋武
9. 照屋	10. 津嘉山	11. 山川	12. 神里
13. 兼本ハイツ	14. 第一団地	15. 第二団地	16. 東新川
17. 北丘ハイツ	18. 宮平ハイツ	19. 慶原	20. その他（ ）

居住地区について、「津嘉山」が 24.7%と最も多く、次いで「宮平」が 17.0%、「兼城」が 16.0%などとなっています。

回答項目	度数	割合
1 与那覇	28	7.2%
2 宮城	7	1.8%
3 大名	19	4.9%
4 新川	18	4.6%
5 宮平	66	17.0%
6 兼城	62	16.0%
7 本部	8	2.1%
8 喜屋武	10	2.6%
9 照屋	14	3.6%
10 津嘉山	96	24.7%
11 山川	11	2.8%
12 神里	9	2.3%
13 兼本ハイツ	9	2.3%
14 第一団地	7	1.8%
15 第二団地	3	0.8%
16 東新川	1	0.3%
17 北丘ハイツ	6	1.5%
18 宮平ハイツ	3	0.8%
19 慶原	0	0.0%
20 その他	11	2.8%
21 無回答	0	0.0%
全体	388	100.0%

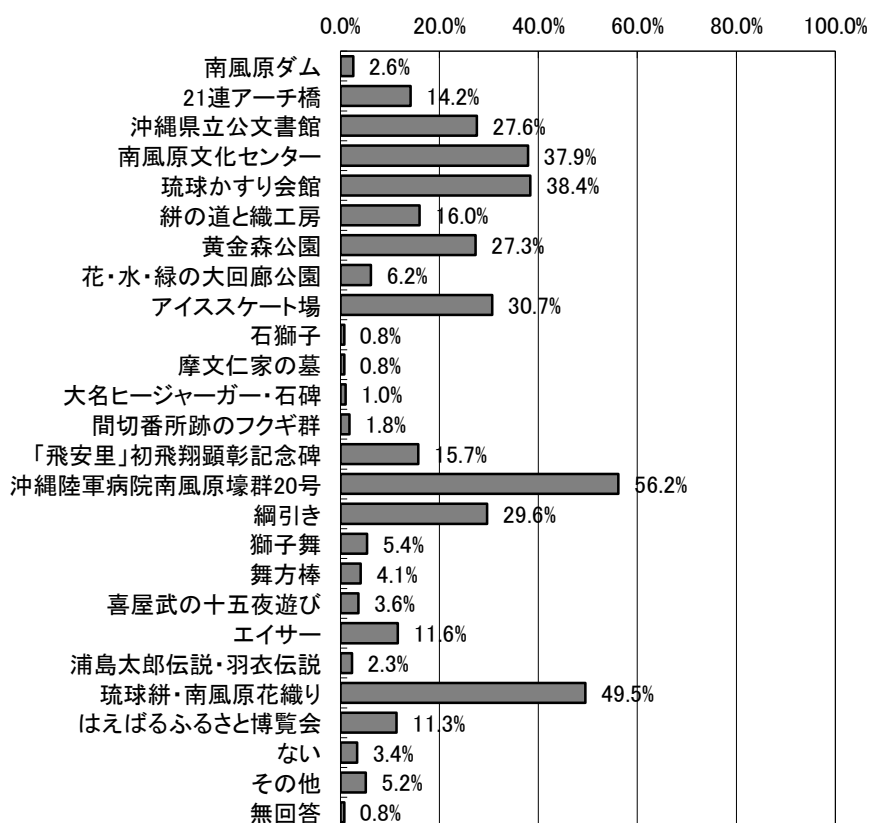


(N=388)

問5 あなたが思う、南風原町で誇れる又は有望な観光資源は何ですか。(該当する番号を5つまで選び○)

1. 南風原ダム	2. 21 連アーチ橋
3. 沖縄県立公文書館	4. 南風原文化センター
5. 琉球かすり会館	6. 絣の道と織工房
7. 黄金森公園	8. 花・水・緑の大回廊公園
9. アイススケート場	10. 石獅子
11. 摩文仁家の墓	12. 大名ヒージャガー・石碑
13. 間切番所跡のフクギ群	14. 「飛安里」初飛翔顕彰記念碑
15. 沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号	16. 綱引き
17. 獅子舞	18. 舞方棒
19. 喜屋武の十五夜遊び	20. エイサー
21. 浦島太郎伝説・羽衣伝説	22. 琉球絣・南風原花織り
23. はえばるふるさと博覧会	24. ない
25. その他 ※いくつかでもお書きください	
①	②
③	④

南風原町で誇れる観光資源について、「陸軍病院南風原壕群 20 号」が最も多く 56.2%、次いで「琉球絣・南風原花織り」が 49.5%、「琉球かすり会館」が 38.4%、「南風原文化センター」が 37.9%となっています。伝統工芸である絣や、南風原の歴史や文化を知ることができる施設に誇りをもっていることが分かります。



回答項目		度数	割合
1	南風原ダム	10	2.6%
2	21 連アーチ橋	55	14.2%
3	沖縄県立公文書館	107	27.6%
4	南風原文化センター	147	37.9%
5	琉球かすり会館	149	38.4%
6	緋の道と織工房	62	16.0%
7	黄金森公園	106	27.3%
8	花・水・緑の大回廊公園	24	6.2%
9	アイススケート場	119	30.7%
10	石獅子	3	0.8%
11	摩文仁家の墓	3	0.8%
12	大名ヒージャガー・石碑	4	1.0%
13	間切番所跡のフクギ群	7	1.8%
14	「飛安里」初飛翔顕彰記念碑	61	15.7%
15	沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号	218	56.2%
16	綱引き	115	29.6%
17	獅子舞	21	5.4%
18	舞方棒	16	4.1%
19	喜屋武の十五夜遊び	14	3.6%
20	エイサー	45	11.6%
21	浦島太郎伝説・羽衣伝説	9	2.3%
22	琉球緋・南風原花織り	192	49.5%
23	はえばるふるさと博覧会	44	11.3%
24	ない	13	3.4%
25	その他	20	5.2%
26	無回答	3	0.8%

問6 あなたが県外・町外の友人や知人に勧める南風原町の観光資源や産物、食、郷土料理等は何ですか。その理由もお書きください。

	名称や内容	お勧めの理由
1		
2		
3		
4		
5		

町外の友人や知人に勧めるものとして「かぼちゃ」が 134 件と最も多く、次いで「琉球かすり」が 69 件。「沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号」が 26 件などとなっています。小計を見ても「農作物」が 173 件と最も多く、かぼちゃやストレリチア、へちまなど、南風原で作られる農

作物へ高い関心があることが分かります。また、こういった特産品を使用した料理に関する回答も多く、食への意識が高いことが伺えます。

かぼちゃなどの特産品を町内外にPRし、特産品を使用した商品や食の文化を広めていくことが期待されています。

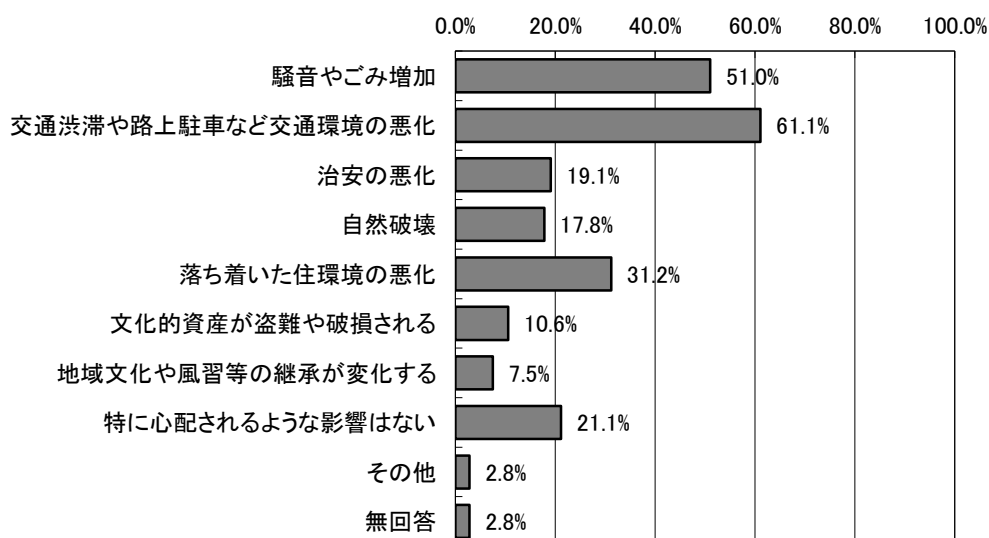
項目	内容	回答件数
河川	南風原ダムは整備してボート乗りとか、ダム周辺を植林して大きな日陰等を作り、長時間過ごし方を図ると良い。	1
農作物	かぼちゃは、津嘉山かぼちゃが美味しく、ブランド化されている。南風原町の特産品を広めたい。有名で地元で食べられないほど人気がある。ファーマーズマーケット構想をリンクして特産品のPR。色々な料理に使える。拠点産地認定品である。	134
	ストレリチアは、生け花でよく使われているし、ほんとにきれい。そして拠点産地認定品である。	14
	つかざん完熟かぼちゃ	1
	スターフルーツは、美味しく、全国で沖縄が90%程度生産しており、南風原町が県内の80%を生産している。	6
	ドラゴンフルーツは、美的で栄養価が高く、安価で求めやすい	1
	南風原豚はブランド豚で、美味しい。食べてみたい。エコフィードで安全性も高い。	5
	ナーベラーはおいしい。	1
	へちまは、健康によく、とても美味しい。へちまを使った新商品（ジャムなど）おいしいです。沖縄で一番生産が多い。	11
	マンゴー	1
	小計	174
工芸品	琉球絣は南風原の伝統的織物。着やすい。コンテストや成人式の着物としても目立って良い。沖縄っぽい。産業の中心であるから。	69
	南風原織物は、地域の個性化が大切だから。	6
	花織は長い間、人々が頑張っているから守っていききたい。たくさんの人に知ってもらいたい。	8
	琉球かすり会館では、かすりのことについていろんなことを知ることが出来る。	3
	絣のネクタイ、町外の人に贈ったことがある。	1
	かすりコンテスト、伝統文化は独自性が強いのでアピールしやすい（もっと現代色を取り入れてあかぬけたファッションショーにしたいと思う）。	1
	染色技術、かすりだけでなくもっといろんな活用してほしい。	1
	かすりのネクタイ・小物は、町内で一番のお土産です。	1
	小計	90
史跡	沖縄陸軍病院南風原壕群 20 号は、戦争の悲惨さ、悲しい現実があったことを肌で感じられる大切な場所。戦争遺跡として歴史など世界中の人に知ってもらいたい。修学旅行生等の勉強資料によい。生きていたら誰でも一度は見ておくべきだと思うので。	26
	飛び安里は、世界初飛行、もっと誇れること	1
	戦争の歴史で、那覇から南部へ避難する時の通り道として南風原では多くの犠牲者が出たことなど重要な歴史がある。	1
	松風苑は金城哲夫の生家。	1
	飛安里記念碑は、町内の偉大な先人の記念碑で知ってほしいから	1
	戦争の歴史、那覇から南部へ避難する時の通り道として南風原では多くの犠牲者が出たことなど	1
	平和関連施設は、県外にあまりないから	1
	小計	32

地域の祭り	綱曳きは、歴史・文化の継承として守ってほしい。	10
	獅子舞・綱引・棒を、とにかく一度みんなに観てもらいたいしてもらいたい。歴史・文化の継承。	3
	エイサーは各部落の個性的なところがいい。	1
	郷土芸能は身近で見られるし参加できる。	2
	小計	16
行事文化	ふるさと博覧会は小さいけど、昔からある。	1
美術館・博物館	南風原文化センターは、南風原町の歴史を知ることが出来き、平和の大切さを発信出来ると思う。	16
地区立図書館	公文書館は、戦争の悲惨さを若い人に知らせる。沖縄が歩んできた歴史を知ることができる	5
	南風原図書館は、伝統あるって聞きました	1
	小計	6
病院	県立南部医療センターは、きれいだし、頼れるから。	1
公園・緑地	緑多い自然、交通便利な場所にありながら豊かな自然がある。	1
	ひまわり畑	1
	本部公園の遊具は他にない。	1
	神里の公園にはウルトラマンがいる。	1
	小計	4
町並み	21 連アーチ橋は、ケタ下利用とてもすばらしい。	2
	カンナの花通りは、色々な色やかたちの花が珍しいから。	1
	居住地は、那覇の隣接でありながら新川から市内線がある。	1
	交通が良く、いろいろな所へ行きやすい	1
	21 連アーチ橋は、建築物としてもアートとしても注目されていい存在であると思う。	1
	高架橋の下は、発展の可能性があるから。	1
	海に面していない町は、逆に覚えやすいかも。	1
	本部公園の展望台は、360° 遠方を眺められる。	1
	かすりロードは、かすりの道を散策しながら琉球絃の歴史を知る。	1
	海がない町、農村文化を伝える行事がたくさんあるから。	1
	住みよい町、ものではないが、都市と田舎の調和がとれた町。	1
	本部公園線の植栽は、頑張りが大変伝わってくる。	1
	新川高台からの景色は、絶景。	1
	松風苑は、金城哲夫氏の生家。	1
	ひまわり畑は、魅力がある。	1
	小計	16
ショップ	ショッピングセンター、交通便利な場所に複数点在している。	1
	ジャスコは、大型ショッピングセンターだから。	1
	ジャスコ・映画館はアクセスに便利。	1
	スーパーは特に女性向け。身近で生活習慣の違いがわかる。お土産も安く買える。	1
	スーパー案内は、特に女性向け。身近で生活習慣の違いがわかる。お土産も安く買える。	1
	小計	5

施設 スポーツ	サザンヒルアイスアリーナは、県内唯一のスケート場であり、日本全国でも通年営業のスケート場があるのは20都道府県しかない。貴重な施設である。国内外から来場する人も多く、スポーツツーリズムとして貴重な観光資源になりうる。しかもアイスホッケーのチームがある。	8
食	津嘉山ロールは、南風原産のかぼちゃを使っていて、とても美味しい。	10
	沖縄そばは、観光地でしか食べられないとわかったから食べてみたくなるものだから（マーケティングとして）。	3
	泡盛は、古くて新しい名産誕生。全国展開してほしい。	2
	かぼちゃは、お菓子にもおかず、天ぷらにもアレンジしやすい。	6
	かぼちゃそば、カボチャそばは、食べて美味しかったから。	4
	いろり亭は、美味しいから。	1
	ジューシーは、沖縄の炊き込みご飯で、美味しくクセになる。	1
	ナーベラーウブシーは、美味しい。	1
	つかざん完熟かぼちゃは、美味しい。	1
	松風苑のすきやきは、美味しい。	1
	ちらー小のそばは、以前あった場所が那覇から南風原に入っすぐに目立つ場所にあってインパクトがあったからそばも美味しかった。新しい店舗にはまだ行っていない。	1
	南風原ぶたのバーガーは、これはもう少し特徴をつくとおすすめしたいです。	1
	冬瓜タルトは、野菜を使ったスイーツはユニークで勧めたい。しかし、味をもう少し改良しなければ持続性がない	1
	ナーベラーと豚肉の煮物は、夏バテに最適 3 美しくて食べやすい。	1
	ドラゴンのサーターアンダギーは、美しくて食べやすい。	1
	ナーベラーのみそかけは、見た目にも涼しげ。	1
	すぶいとゴーヤカレーは、ヘルシーで個性的。	1
	酒・南風原5年古酒	1
	ゴーヤチャンプルーは、健康の為。	1
	てびろ・ソーキ煮つけは、美容の為。	2
	黒糖は、健康の為。	1
	南風原豚は、名称がよく、おいしい。	1
	イナムドゥチシナは、我が家の人気メニュー。	1
	アテモヤは、知られてないから勧めたい。	1
	ソーキそばは沖縄のそばは他にない。	1
	はえばる 3B バーガーはおいしい。	1
	マドレーヌはおいしい。	1
	スターフルーツパイはさっぱりしていて水分が多い。	1
	中味汁は子どもから大人まで誰でも好き。	1
	ボロボロジューシー	1
	かぼちゃの天ぷら・グラタン	1
	琉球料理ふみやや手軽に琉球料理を味わえる。	1
	南風原豚は、ブランド豚だから、食べてみたい。エコフィードと安全性	1
	はえばる 3B バーガーは、おいしい。	1
	マドレーヌは、おいしい。	1
	ボロボロジューシー	1
	スターフルーツパイは、さっぱりしていて水分が多い。	1
	かぼちゃ入りグラタン	1
	ドラゴンフルーツ、熱帯果樹であり沖縄が有利。南風原でも生産されている。	1
	中味汁は、子どもから大人まで誰でも好き。	1
	ナーベラーは、おいしい。	1
	かぼちゃ入りさとう天ぷら	1
	琉球料理ふみや、手軽に琉球料理を味わえる。	1

が31.2%などとなっています。また、「特に心配されるような影響はない」という回答も21.1%ありました。

半数以上の方は、現在の暮らしの環境が悪化することを懸念しています。

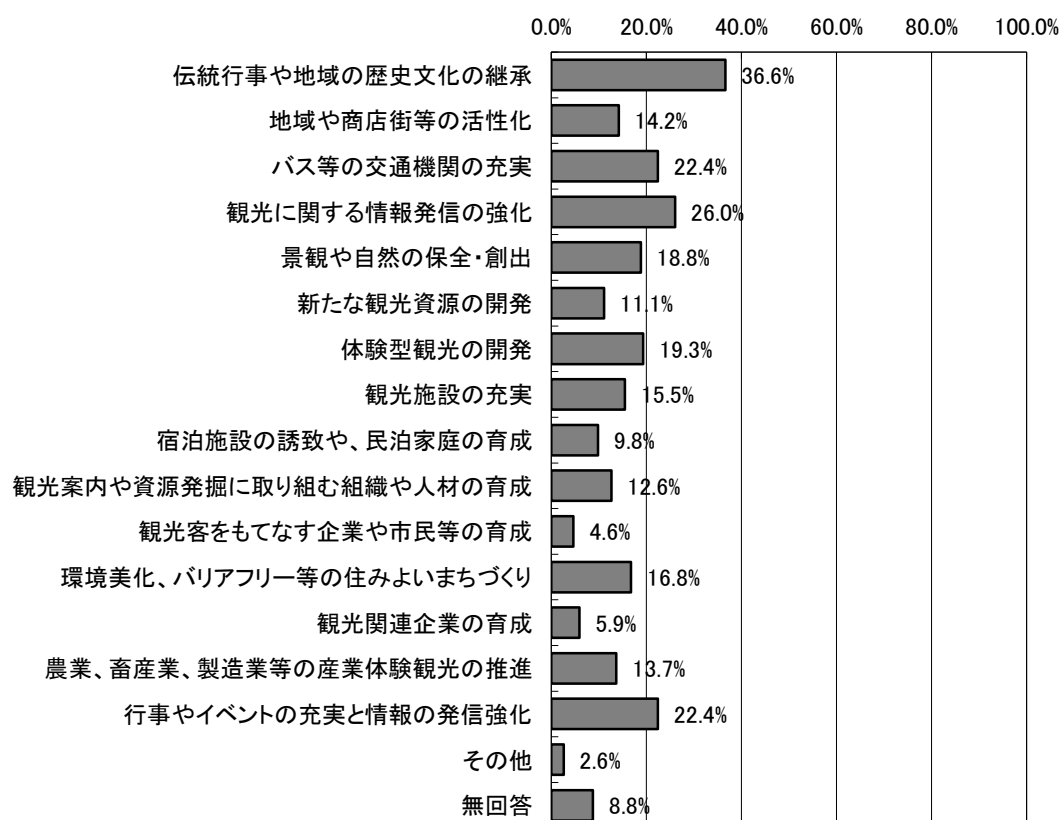


回答項目		度数	割合
1	騒音やごみ増加	198	51.0%
2	交通渋滞や路上駐車など交通環境の悪化	237	61.1%
3	治安の悪化	74	19.1%
4	自然破壊	69	17.8%
5	落ち着いた住環境の悪化	121	31.2%
6	文化的資産が盗難や破損される	41	10.6%
7	地域文化や風習等の継承が変化する	29	7.5%
8	特に心配されるような影響はない	82	21.1%
9	その他	11	2.8%
10	無回答	11	2.8%

問9 南風原町の観光を振興する上で必要と思われるものは何ですか。(該当する番号を3つまで
選び○)

1. 伝統行事や地域の歴史文化の継承
2. 地域や商店街等の活性化
3. バス等の交通機関の充実
4. 観光に関する情報発信の強化
5. 景観や自然の保全・創出
6. 新たな観光資源の開発
7. 体験型観光の開発
8. 観光施設の充実
9. 宿泊施設の誘致や、民泊家庭の育成
10. 観光案内や資源発掘に取り組む組織や人材の育成
11. 観光客をもてなす企業や市民等の育成
12. 環境美化、バリアフリー等の住みよいまちづくり
13. 観光関連企業の育成
14. 農業、畜産業、製造業等の産業体験観光の推進
15. 行事やイベントの充実と情報の発信強化
16. その他 ()

南風原町の観光を振興する上で必要と思われるものについて、「伝統行事や地域の歴史文化の継承」が36.6%と最も高く、次いで「観光に関する情報発信の強化」が26.0%、「行事やイベントの充実と情報の発信強化」、「バス等の交通機関の充実」が共に22.4%などとなっています。「観光に関する情報発信の強化」と「行事やイベントの充実と情報の発信強化」という意見が共に多くあることから、情報発信の強化が求められています。



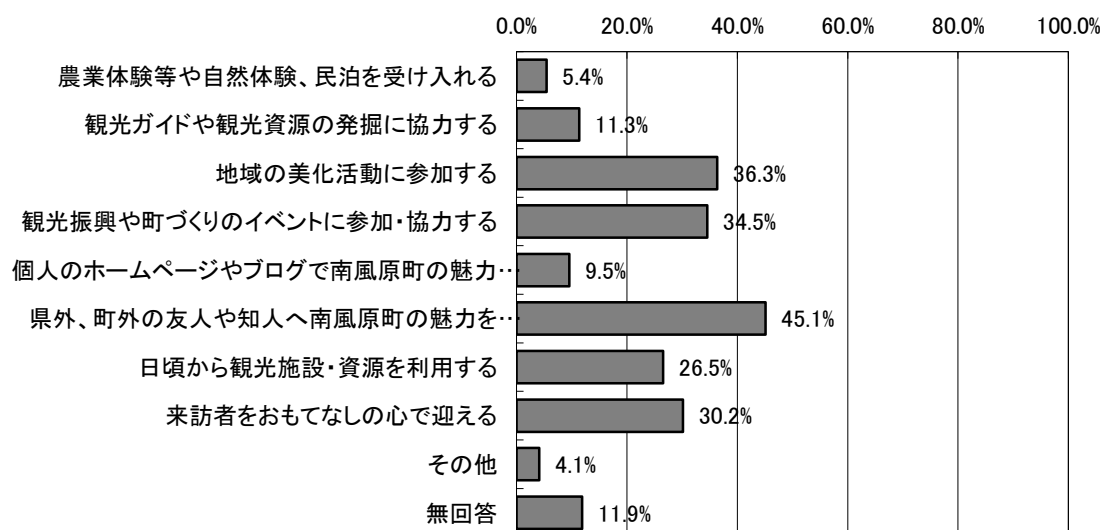
回答項目		度数	割合
1	伝統行事や地域の歴史文化の継承	142	36.6%
2	地域や商店街等の活性化	55	14.2%
3	バス等の交通機関の充実	87	22.4%
4	観光に関する情報発信の強化	101	26.0%
5	景観や自然の保全・創出	73	18.8%
6	新たな観光資源の開発	43	11.1%
7	体験型観光の開発	75	19.3%
8	観光施設の充実	60	15.5%
9	宿泊施設の誘致や、民泊家庭の育成	38	9.8%
10	観光案内や資源発掘に取り組む組織や人材の育成	49	12.6%
11	観光客をもてなす企業や市民等の育成	18	4.6%
12	環境美化、バリアフリー等の住みよいまちづくり	65	16.8%
13	観光関連企業の育成	23	5.9%
14	農業、畜産業、製造業等の産業体験観光の推進	53	13.7%
15	行事やイベントの充実と情報の発信強化	87	22.4%
16	その他	10	2.6%
17	無回答	34	8.8%

問 10 あなたは、町民としてどのような形で観光振興に関わっていますか、又はいきたいと思いますか。（該当する番号を3つまで選び○）

1. 農業体験等や自然体験、民泊を受け入れる
2. 観光ガイドや観光資源の発掘に協力する
3. 地域の美化活動に参加する
4. 観光振興や町づくりのイベントに参加・協力する
5. 個人のホームページやブログで南風原町の魅力を発信する
6. 県外、町外の友人や知人へ南風原町の魅力を紹介する
7. 日頃から観光施設・資源を利用する
8. 来訪者をおもてなしの心で迎える
9. その他（

町民としてどのような形で観光振興に関わっていききたいかということについて、「県外、町外の友人や知人へ南風原町の魅力を紹介する」が45.1%と最も多く、次いで「地域の美化活動に参加する」が36.3%、「観光振興や町づくりのイベントに参加・協力する」が34.5%などとなっています。

「農業体験や自然体験、民泊を受け入れる」など、観光振興に関する職業についていないと実現が厳しい事柄よりも、誰もが今すぐにでも始められる事柄が高い数値であることから、町民が参加しやすい観光振興を行っていくことが望まれています。



回答項目		度数	割合
1	農業体験等や自然体験、民泊を受け入れる	21	5.4%
2	観光ガイドや観光資源の発掘に協力する	44	11.3%
3	地域の美化活動に参加する	141	36.3%
4	観光振興や町づくりのイベントに参加・協力する	134	34.5%
5	個人のホームページやブログで南風原町の魅力を発信する	37	9.5%
6	県外、町外の友人や知人へ南風原町の魅力を紹介する	175	45.1%
7	日頃から観光施設・資源を利用する	103	26.5%
8	来訪者をおもてなしの心で迎える	117	30.2%
9	その他	16	4.1%
10	無回答	46	11.9%

11 南風原町の観光振興に関するご意見やご提案等を自由にお書きください。

No.	自由意見
1	工業施設周辺の歩道は真夏でも歩けるように木陰をつくる木々を配置する。(裁判所通りのような) 高津嘉山は、毛になっているので整備して桜見のできる公園にする。かすりの機織り体験。赤豚、子牛のふれあい体験、乗馬、南風原ダムをボートで水遊びできるような池として整備する。
6	安価な農産物の販売と農業体験で(収穫をして料理して食べる)など南風原の〇〇に行けば(面白い体験ができる)新たな観光開発が人々を面白がらせ、人が集まってくるのではないか。「いやしの里」のようなリラックスする(ストレス社会なので)分野も有望と思います。
9	地域の美化活動推進。
15	おいしいご飯屋が少ない。内地から友人が来たら、那覇まで行っている。
23	南風原町に住んで 10 年余り、何も知らないことに気づき、申し訳ない気持ちになりました。町民としてもう少し関心を持っていきたいと思っています。
27	県外から友人を招いたときに食事をするところがない。もっとおしゃれなカフェを増やしてほしい。(パーキングがあること)
28	県外出身で 30 年近く南風原に住んでいますがいまい南風原の事を知りません。残念です。でも住みやすく大好きです。南風原特産のかぼちゃ食べたいです。
29	黄金森運動公園を利用して大きなスポーツイベントの企画。体育館をつくる。かすり等の体験型観光の充実。食べ物や飲料のブランド強化。
30	空いている土地や高速道路下の場所を使って南風原の特産品を販売したり、フリーマーケットをしたり、活用した方が良いと思う。
31	南風原はどんどん道もきれいになっているし 21 連アーチも日本ではここ南風原だけなのでもっと PR していくとたくさん観光客が集まると思う。泊る所が南風原にはないので、体験型観光で引っ張っていくといいと思う。これがうまくいくと一日体験プラン(観光)もいいと思う。夜は青年会を呼んで、エイサー&綱引きしたり楽しそう。
32	交通機関を充実させ、町民が自由に出入りできる観光地を望みます。
33	観光資源の場所等の案内板が少ないような気がする。(看板等数を増やした方がよい)
36	南風原町はどちらかというと、存在感のない町だと思っています。住民が住みよい環境に力を入れていくだけで、「みんなが住みたいまち」という風なイメージをつくるといいかもしれません。観光は、そのイメージが確立されればおのずとついてくると思います。たとえばカナダのバンクーバーは世界一美しく老後を過ごしたいまちというイメージがありますが、その美しい町の景観・資源を利用して外部から来た人々の手によって新しいアイデアをもって産業を作り出しています。また、文化遺産を大学教員や研究者が訪れる町でもあるのでどこか「探究する町」みたいなエキゾチックな冒険心をくすぐるような町になってほしいです。
38	大金をかけてホテルを建設する等、ギャンブル的な事はやめて、上記の民泊に力を入れるべきだと思います。伊江村・東村に習って。
40	もっとネットを利用してアピールした方がいいのでは? ウルトラマン、飛び安里、緋、綱引等をツイッター、Facebook、YouTube で発信した方がいいと思います。鬼太郎ロードのようなウルトラマンロードがあれば楽しくて人も集まりそう。プロの野球、サッカーチームの受入体制、設備もあればいいのに。
43	宿泊施設があればいいと思う。公共交通の充実。たとえば駐車場を作って町内を回るルートバスがあれば良い。低料金で。
44	活性化が振るわない原因として首里や那覇市内への通過点にすぎなくなっていることだと思います。私が南風原町に住む場所を選んだ理由は高速に近く買い物に便利だからです。魅力ある街づくりをかんがえるならば、沖縄らしい街並みや建物を見直すこともひとつではないでしょうか。アパートが多い。街並みが標準化し沖縄らしくなくなる等。道路拡張の為上間菓子店店舗が移動したことは残念です。
45	観光・宿泊施設などが充実していれば南風原町のあらゆるものが活性化されるのではないかと思います。
48	南風原町役場や中央公民館でのイベントがあると駐車場がいっぱいになるだけでなく、路上駐車もひどく交通渋滞を引き起こします。駐車スペースの確保をお願いします。
50	黄金森公園は古くなって整備も途中のままで早く整備した方がいいと思います。那覇市と一緒にやっている環境の杜が利用しやすいです。
52	地域の区画整備を有効にして各種娯楽場所を多くしてもらいたい。

59	南風原町はとても住みやすい町だと思います。更なる観光振興は重要だと思います。期待しています。
64	テーマパークを作ってほしい。地元の人も観光客も楽しめる歴史文化も伝統も感じることでできるもの
65	ウガンマ前は現状のまま残してほしい。
66	南風原の特産品フルーツとかかぼちゃを町内のどこで食べられるか住んでいてもわからない。人が立ち寄る場所として道の駅的なものを作って、まず南風原で立ち止まってもらえるところが必要。
67	地元の代表的な工芸品の復活活性化、ビジネス展開の戦略が足りないように感じます。
69	町の活性化に重きを置き、開発が進むと、これまでの生活が脅かされる不安があります。負の遺産を残さないような観光振興をお願いしたいです。
77	観光でも地元客か本土客を求めるのかターゲットをしぼらないとコンセプトが生まれないのでは？東村や伊江村は観光行政がうまいと思う。南風原もこうありたい。
78	南風原町観光協会ができてうれしく思います。南風原町民として協力できることは全面協力します。
81	観光客が増えると歴史文化の町として南風原町が発展すると良いかと思います。
82	観光振興で町が潤い、雇用も生まれるといいと思います。
84	はえるんを活用したPR活動を展開すべき。
86	一日かけて観る・遊ぶ観光の場所がない。津嘉山等の周辺域を活用して大規模なものを作らないと人は集まらないのでは？綱引、棒等を一か所でショーのように体現できないか。
88	15年住んでいますが知らない場所がたくさんある。まず外に向ける前に住んでいる町民に向けて発信する何かも必要では？それと、交通の便、電車が通れば老若男女にやさしいまちになるかなと思います。
89	南風原のイメージはパチンコ屋ばかりが目立ち「出かける」ではなく通り過ぎてしまうだけの町。那覇に住んでいた時も越してきた今もまったく変わらないが特に期待もしていない。住みにくくなるよりこのままでもいい。
92	美しい町、農業畜産業、伝統工芸がマッチしてひとつのテーマがある街になると思います。教育環境、医療環境も充実すればよいと思います。
93	なぜ街路に緑がないのですか。城間町長は心の広い方と聞いているが旅行者から緑の無いまちとよく聞きます。
94	南風原と観光ということが正直ピンときませんでした。新たなものを作るというより、今あるものを生かした体験型の方がふさわしいと思います。ハードよりソフト面に重点をおいて。そこに住む人とのふれあいこそ旅の魅力では？町にはその仕掛け作りに労力をさくことの方が望ましいと思います。
95	住民に快適な環境づくりをすれば、観光振興に税金を使わなくても町外、県外から人は訪れる。ハコものづくりによる自然破壊、人材育成に繋がらない一過性のイベントに金・労力を費やすことはやめてほしい。
97	南風原の人にイベントなどがわかりやすく伝えれば良いと思う。「てくてく南風原」はとてもいいと思う。
98	住宅地としての立地は非常に良いですが、観光地としての資源は乏しいと考えます。またあつたとしても観光客を引きつけるほどの魅力はないと思う。
100	南風原町らしい独自性をもった（他にない）資源を作ってほしい。
103	観光振興する上で町にどれだけの利益をもたらし、それが町民の生活や心が豊かになる発信をしてほしい。
105	道を作るにしても、景観をもっと自然・植物を取り入れたきれいな道にしてほしい。雑草の整理やゴミの落ちていない町にしてほしい。
106	南風原にはすばらしい緋、伝統行事が各部落にあります。それらを利用して体験型観光を。
107	黄金森の芝生もきれいに整備してプロサッカーなどのキャンプを行えるようにしたらいいと思う。
108	情報は積極的に発信すると観光客の目に留まりやすい。観光客は観光ガイドブック、観光ホームページを見て、訪れるため。あと、世界遺産も興味をもっている。

111	観光業の発展は嬉しいが、マンション等の増加により他地域からの人口流入によって治安等の悪化が懸念されます。対策を考えていかなければと思います。
112	日曜日仕事のため、イベントに参加できないのが心苦しい。
113	既存の観光資源は正直インパクトが小さい。ハコモノを新たに作るより食「食事や飲み物」などを開発する方がスタートとしては良いと思う。
114	観光で町が活性化して雇用が増えるといいです。子供たちにも南風原町で誇れる観光資源、歴史などを詳しく教える。
115	町内マップをホームページ等で詳しく。どこになにがあるかを紹介して地図を載せた方がいいと思う。
117	地元の野菜や花、菓子、果物などを売る大きな市場を作ってほしい。（大里の軽井便のような）
119	民泊の拡充を図る。
120	壕群を整備し、戦争の恐ろしさを伝える町であることにより平和活動で人が寄ってくると思う。9条の町南風原町。
122	ゆるキャラを通して南風原をPRしてほしい。子供から大人まで利用できる公園があったら遠方から人が集まってくるのでは。年中花が咲いている公園がほしい。
123	観光振興の発展に高齢者の雇用を促進して下さい。（パートアルバイトなど）
124	鉄軌道導入の検討
125	南部圏の修学旅行等のコースに入れないかなと思います。スポーツを通じた取り組みも良いと思います。
127	スポーツ等の活性化を図り、地域のコミュニケーションを推進してほしい。区の活動を強化（情報化）
128	生活はしやすい町だと感じています。観光に対しては、自分自身もよく知らないため友達を案内するのは限られています。
132	道路工事を進めてほしい。スーパーを増やしてほしい。
133	観光地や娯楽施設等が増えるといいなと思いますが、今の静かな南風原も好きです。
134	魅力ある南風原町のために頑張ってください。
138	高速が近くなった分、観光での交通面では良い環境だけでも、老若男女問わず「南風原へ行こう」となる物が無いと思います。他市町村にはない物・事のアピールは力を入れてアピールすべきだと思います。
141	公園、駐車場の整備（バリアフリー化）
145	昨年越してきたばかりですが、観光資源が全く分かりません。マンションに広報も入っていません。観光客でも地元民でも気軽に立ち寄れる道の駅のような所があれば良いかと思っています。
146	住みよい南風原町の為に頑張ってください。
148	遠くからでも足を運びたいようなテーマパーク、施設、祭り等に力を入れてほしい。
149	南風原広報などで南風原の歴史魅力を教えてほしい。広報等で住民からのアイデア募集など。
150	より一層のスポーツ施設の充実を図り、プロチームのキャンプ誘致等、スポーツを通しての観光振興を望みます。
151	将来を担う子供たちが豊かな心を持てるようなアクションを地道に行うことも大切だと思います。地元を誇れる子供たち作りも観光振興の一つではないでしょうか。
153	花・水・緑の公園に飲食店があったらいいな。
155	南風原はあまり観光客が少ないです。魅力ある町は体験などを充実させている。
157	南風原町の特産物が食べられるレストラン等があると良いですね。
159	宿泊施設が無いので、魅力ある個性的な施設を一つでも作った方がよい。南風原のアピールが一挙にできる通りをつくってもよいと思います。
162	町長が先頭に立ちリーダーシップを今まで以上に発揮してほしい。
163	南風原のかぼちゃは知名度はあるが、スーパーで見かけることがない。地産地消の意味も含め、地元で入手しやすい体制が必要かと。
167	高速の南風原北と南があり、その周辺を開拓することにより高速で那覇や空港に向かう人々を南風原に寄り道させる魅力があれば良いと思う。あと無料wi-fiがどこでも使えるようにするのも魅力あり。

169	きれいにするだけで人は集まると思う。街路樹を放置しないで、毎月管理し花を植えた方がいいと思う。
175	観光振興でなくても教育・スポーツ振興に重点をおいて町の発展を考えた方が良いと思います。
176	琉舞会館→南風原高校生・地元の舞踏家出演→レストラン（沖縄料理）地元の食材を使う。かすり会館→体験販売。南風原の綱引を大きなイベントとしたらお客さんも増えるのでは？
177	正直いうと、南風原の観光ってどこがあるのかよくわかりません。だけど、すごく住みやすく好きな町です。
178	国や県が目にする子育て環境、女性の社会復帰支援モデル都市にし、積極的に町民の声を聴き、かぼちゃや餅の売り出しや企画・コンペなど賞金を出してやるべきだと思います。
181	南風原町は教育面活動でとても優れていると思います。直接には観光振興に繋がらないかもしれませんが、秋田県のように違う意味での誘致に繋がるのではないかと思います。
183	正直観光は「織物」しかわからないです。今後期待できることは青少年のスポーツが盛んな現在の町内であることから、スポーツ施設の充実などはいかがでしょうか。プロ野球チームのキャンプ地として誘致するのもあり。
187	外国人観光客も視野に入れた受け入れを検討しても面白いと思います。南風原町を世界へ！
188	都市モノレールが南風原町まで延長してほしい（近い将来）
189	最近越して来たのですが、南風原には何があるのかどんな行事があるのか全然わかりません。もっとアピールが必要だと思います。
191	南風原でしか体験できないことを観光にすべき。戦争の平和学習をより推進していくべき。ホテルも不安。ただ、平和について日本中・世界中にPRしていけばいい。
193	南風原は観光地としてのイメージは薄い。地域活性化を計り、今後町観光協会と連携し集客力を目指してほしい。
199	南風原町に観光客を呼び、イベントを観てもらおう施設がほしい。
200	街路樹がとても少なく、道路が寂しいのでもっと花や植木で他の地域のように賑やかにしてほしいです。
201	伊江村等で見られる修学旅行生の民泊や平和学習、伝統芸能伝統行事等の体験交流は有望。
202	南風原町といえばというものを感じられないので観光振興の前に新たな観光向けを考えるとどこから始めてはどうですか？
203	これといった目玉がないのでこれから作り出そう。
204	南風原町の観光資源の多くはバス通りの多い329号線沿いではなく、交通の便が悪い場所にあると感じる。それらをシャトルバスで回れると良いと思う。
209	ダメかもしれないがかぼちゃマンが復活してほしい。
211	交通の便は優れていると思うので、観光客向けの商業施設や飲食店を増やすべきと思う。（アウトレットモールや免税店など）
212	観光客が増えたとして、小さい子供や年寄りに住みにくい町にはなってほしくない。直すところは直して、昔からあるものはそのままであってほしい。自分の子供に将来住んでほしいから。
213	戦跡だけでは成立しないと思う。日頃から観光地と思われる場所がどこなのかわからない。
215	観光化を目指すあまり、つまらない空間になるのは防ぎたい。
216	他の市町村にないような娯楽施設を誘致または生み出し、人を呼び止め、そのあと道の駅を作り特産品を売り観光客を呼ぶ。
218	南風原町の「食」が意外に発信されてない。また、かぼちゃなどは町外へ出荷されており地域の皆の口にはあまり届いていない。
219	高速の中に道の駅をつくる。
222	差別化を計るPRが弱い。何か一つでも「これはどこの市町村にも負けない！」というものがあれば人は集まると思う。
227	南風原町は那覇や空港にも近く自動車へのアクセスも便利なところ。大型ホテルを作って観光客の集客を図れるのではないのでしょうか。
228	観光振興に懸命になる必要はないと思う。
229	無理に観光振興を推進する必要はないと思う。それよりも通勤に便利、空港・高速から近い点などからベッタウン的な位置づけで「沖縄で一番住みよい町」を目指し、文化的施設の充実などによる住民の質の向上を目的とした町政を期待しています。

230	道路の拡大、マンション建設と、これから益々発展が期待される町として楽しみである。
232	観光振興に関する将来のあるべき姿を検討する前に現状の問題点等を今存在する事実を町民全体で共有していくことが先だと思います。そのアンケートを先にすべきだと思います。
234	観光資源が南風原以外にもあるものが多く、特別南風原という感じではないです。
236	落ち着いた文化の香り漂う心豊かな町＝生活の場であってほしい。経済の活性化だけが豊かな街ではないと思う。
239	子連れでも見学や体験ができる施設が増えると嬉しいです。
241	町民が盛り上がりれば自然に県外や町外へアピールになると思います。楽しい、参加できるイベントを待っています。
242	楽しみ目的で来る観光ではなく、持っている歴史の重さを伝えられる沖縄のありのままを伝えられる南風原であってほしいなと思います。
243	正直南風原と観光があまり結びつきません。かぼちゃも市場にはあまり出回ってなく、食べたことがないので他の人に勧められません。かすりも高価なため手が出ません。自然の保全を願います。
244	大型ホテルの誘致。メディアを利用して南風原の知名度をアップさせる。国道沿いの街路樹を多くする。
254	南風原町に関する土産品店と郷土料理などが食べられる所を集めて一か所に作る。
255	南風原らしい、ホテル等の宿泊施設を作ってほしい。
257	食に関しては統一感がない。かぼちゃなら「かぼちゃ月間」等の旬な時に力を入れるのも、短期的で行えて毎年できると思う。周りのお店に新商品の開発をお願いする。行ってくれる所は広報に載せる等のことをする。
259	便利さばかりが優先されて全く味気のない街になりとても残念です。
260	南風原道の駅を作ってほしいです。
261	居酒屋は多いが、食事をするところ（カフェやレストラン）が少ない。
263	行きたいと思う飲食店が少ないと思うのでもっと増えたら観光振興に繋がるのではないかと思います。
264	はえるんはかわいくて町のイメージアップに大きく貢献しています。ゆるキャラから別の観光資源につなげる段取りが必要だと思います。（物産展等だけでなく、場所・施設のアピールにも）
267	ウルトラマンをもっとアピールしてもいいと思う。子供たちも大人のファンも喜ぶ。形化。アンケートが届いてから発送まで一週間というのは短い。人は様々な用事がある。もっと余裕をもって。
272	昔から生きるお年寄りの方からたくさんの児童を抱えるいい意見で古き良き時代と共存している町だと思います。急いで近代化を狙うのではなく、昔からのいいものを継承しつつ発展して欲しい。
273	南風原内の老人会・青年会・婦人会・その他で、イベント企画の会議を開き、南風原町内でのイベントを色々な方面から検討して企画してみる。必要なマンパワー施設などは、地元の協力を得ながら多方面の人々が関われるイベントを企画していく。
274	美化（ごみや雑草）きれいであれば皆の意識も変わる。
276	観光振興より、地域住民の生活環境の充実による南風原町の発展を希望します。
277	沖縄県は車社会なので、観光施設には十分な駐車スペースの確保が必要不可欠だと思う。素通りの地域にならないために何か一つでも魅力あるもの（産業・資源）を創る。町民にもっと町の魅力を知ってもらう。
278	以前は住みやすかった環境が、津嘉山の開発で大きく変わった。私は以前のような、緑もある落ち着いた南風原町のほうが良かった。
282	はえるんの活動が面白くない。もっと他のゆるキャラがやってないことをやった方がいいと思う。（例）防水とバンジージャンプ
284	黄金森公園でのプロスポーツチームのキャンプ誘致をしてほしい
285	体験型観光（スポーツ施設の充実）。宿泊施設の誘致。
290	ベッドタウンなので、そこをもっと引き出す事も一つ必要だと思った。観光振興では他市町村より遅れをとっていると思うので、変わった取り組みが必要。

291	新たな観光振興よりも、静かで安全な街づくり（中学生がタバコを吸ったり登校時間や夜中に集まっています）教育に力を入れてほしい。かすり産業は振興してほしい。
315	はえるんがもっと有名になるといいなと思います。町民でも知らない人がまだまだ多い感じがします。
323	祭りのイベントの一つに「飛安里」にちなんで紙飛行機大会を開催してはどうか？
326	まずは町民が楽しい町づくり。が不可欠ではないか？そこから、口コミやネット等で広げているんじゃないかと思う。
345	景観を向上させないと人は来ない。街路樹が少ない。良い街になると自然と人が集まり、自然に観光客も増えるものだと思いますが。
346	町道や公園等公共の場に桜の木を植えてほしい。（兼本ハイツ内の道路は桜の季節になるととてもキレイです。）
349	地域特産物を生かした観光振興を展開する為の開発・指導者の育成を行い、広くメディアを通じた広報により知名度を上げる必要があると考える。地域伝統・文化地場生産物等あらゆる資源を掘り出しベストな選択が必要では？
363	平和活動にもっと力を入れてもいいと思う。
364	今後も「はえばる豚」等いい商品をPRしてほしい。
378	自然エネルギーの活用、まち全体で取り組む、ソーラーパネルを増やし、農業等にも取り入れ、新たな産業に繋げていく。
380	那覇市の近隣町として役割があるため、農業、住宅、歴史文化の場所として町の柱を決めること。
382	年間500万人以上の観光客の中から、一人でも多く南風原町に来て頂くため、町の観光資源を更に、個々に充実、魅力あるものにするため、創意工夫する。
383	地域の人材を活かした魅力スポットが必要。アイデアを聞いてほしい。
385	若い世代に、今から観光振興について勉強してもらうことも大切ではないかと思います。
388	ひまわり畑などをまたやってほしい。

計 152 件

3 南風原町観光振興計画策定経過

会議名	開催年月日	内容
第 1 回南風原町観光振興計画策定委員会	平成 26 年 2 月 18 日	○計画の趣旨と策定スケジュール ○観光振興計画の構成の検討 ○観光の現状と課題及び施策体系の検討
第 2 回南風原町観光振興計画策定委員会	平成 26 年 3 月 11 日	○南風原町観光の現状と課題の検討 ○観光施策の具体的な取り組みの検討
第 3 回南風原町観光振興計画策定委員会	平成 26 年 3 月 19 日	○南風原町観光振興計画（案）の検討

4 南風原町観光振興計画策定委員会

■策定委員会設置条例

南風原町観光振興計画策定委員会設置条例

（設置）

第1条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、南風原町観光振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（任務）

第2条 委員会は、町長の諮問に応じ、南風原町観光振興計画に関する事項について調査審議し、その結果を答申するものとする。

（組織）

第3条 委員会は 10 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- （1）観光に関する見識を有する者
- （2）関係行政機関の職員
- （3）関係団体の代表者
- （4）その他町長が必要と認める者

（任期）

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画が策定されるまでの期間とする。ただし、委員がかけた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第5条 委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、委員会を統括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長は会議の議長となる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 会長は、会議において必要があると認めるときは、関係者の出席を求めてその意見若しくは説明を聴き又は関係者からの資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、経済建設部産業振興課において処理する。

(その他)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

■委員名簿

No.	区分	氏名	所属
1	委員長	照屋 盛夫	一般社団法人南風原町観光協会 会長
2	副委員長	真境名 元彦	南風原町役場経済建設部 部長
3	委員	赤嶺 和雄	南風原町商工会 会長
4	委員	内間 仁春	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 常務理事
5	委員	仲本 明光	南風原町文化協会 会長
6	委員	宮國 正広	有限会社ガリバー旅行企画 代表取締役社長
7	委員	藤原 政勝	一般社団法人南風原町観光協会 事務局長
8	委員	大城 清子	南風原町農村生活研究会 会長

■南風原町観光振興計画策定委員会への諮問

南 産 第 1 7 1 6 号
平成 2 6 年 2 月 1 8 日

南風原町観光振興計画策定委員会

南風原町長 城 間 俊 安

南風原町観光振興計画策定について（諮問）

南風原町観光振興計画策定委員会設置条例第 2 条に基づき、下記事項についてご審議をお願いいたします。

記

諮 問 事 項 ： 南風原町観光振興計画策定について

■南風原町観光振興計画策定委員会からの答申

平成26年3月24日

南風原町長 城 間 俊 安 殿

南風原町観光振興計画策定委員会
会長 照 屋 盛 夫

南風原町観光振興計画策定について（答申）

平成26年2月18日付、南産第1716号で諮問がありましたみだしの件について、本策定委員会で慎重に審議を重ねた結果「南風原町観光振興計画」としてまとめましたので、審議した内容を答申します。

なお、計画の推進に当たっては、下記の事項について充分ご配慮下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 観光振興の実施について、町民と事業者、行政とが連携・協力しあい、共通認識のもと取り組む。
2. 計画の目標達成のため、進行管理を行う機関の構築に取り組む。

南風原町観光振興計画

発行日 平成 26 (2014) 年 3 月

編集発行 南風原町

沖縄県島尻郡南風原町字兼城 686 番地

TEL 098 (889) 4430

